NEC

Aterm® WR8400N

取扱説明書 第1版

XSPAN ATHEROS

・本書をお読みになる前に別冊「つなぎかたガイド」をご覧ください。インターネットが使えるようになるまでの接続と設定の手順をわかりやすく紹介しています。
・「ソフトウェアのご使用条件」は、5ページに記載されています。添付CD-ROMを開封する前に必ずお読みください。

はじめに

この度はAterm WARPSTAR（エーターム ワープスター）シリーズをお買い上げいただきまことにありがとうございます。
Aterm WR8400N（以下、無線LANアクセスポイント（親機）と呼びます）は、Draft IEEE802.11n、IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11gの無線LAN規格に準拠したワイヤレスブロードバンドルータです。
本書では本商品の設置・接続のしかたから、さまざまな機能における操作・設定方法、困ったときの対処方法まで、本商品を使いこなすために必要な事項を説明しています。
本商品をご使用の前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

■マニュアル構成

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。

つなぎかたガイド（小冊子）

基本的な接続パターンを例にインターネットが使えるようになるまでの接続と設定の手順をわかりやすく紹介しています。

取扱説明書（本書）

本商品の基本機能についての説明書です。

機能詳細ガイド（HTMLファイル）

本書には記載されていない本商品のより詳細な機能について解説しています。
「機能詳細ガイド」はホームページに掲載されています。下記URLからご覧ください。
AtermStation（http://121ware.com/aterm/）より、[サポートデスク]－[機能詳細ガイド]を選択してください。

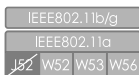
お知らせ

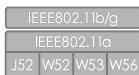
●本文中では、本商品をそれぞれ次のように呼びます。

本商品の名称	本文中で使用している名前
WARPSTARベース	無線LANアクセスポイント（親機）
Aterm WR8400N	WR8400N（親機）
WARPSTARサテライト	無線LAN端末（子機）
Aterm WL300NC	WL300NC（無線LANカード）

■電波に関する注意事項

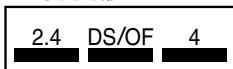
● 本商品は5GHz帯域の電波を使用しております。5.2GHz、5.3GHz帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。

● IEEE802.11aで使用するチャネルは36,40,44,48ch（W52）と52,56,60,64ch（W53）と100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch（W56）です。無線LANアクセスポイント（親機）としては、従来のIEEE802.11aで使用の34,38,42,46ch（J52）の装置とIEEE802.11aモードでの通信はできません。

・W52（5.2GHz帯/36,40,44,48ch)、
W53（5.3GHz帯/52,56,60,64ch）が利用できます。
W56（5.6GHz帯/100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch）が利用できます。

無線LAN端末（子機）として利用する機器は、以下のマークがついたものを推奨します。

・J52 （5.2GHz帯/34,38,42,46ch)、
W52（5.2GHz帯/36,40,44,48ch)、
W53（5.3GHz帯/52,56,60,64ch）が利用できます。
W56（5.6GHz帯/100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch）が利用できます。

● W53（52/56/60/64ch）またはW56（100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch）を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
・各チャネルの通信開始前に、1分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
・通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。

● IEEE802.11b、IEEE802.11g通信利用時は、2.4GHz帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
2.4GHz帯使用のBluetooth機器との通信はできません。

● IEEE802.11b、IEEE802.11g通信利用時は、2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてDS-SS方式および、OFDM方式を採用しており、与干渉距離は40mです。

2.4　:2.4GHz帯を使用する無線設備を示す
DS/OF:DS-SS方式およびOFDM方式を示す
4　:想定される干渉距離が40m以下であることを示す
■■■ :全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

（1）本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
（2）万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
（3）その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、別紙に示すお問い合わせ先にお問い合わせください。

Windows® は､米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Windows Vista is either a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
※本商品は、Windows Vista™ Home Basic、Windows Vista™ Home Premium、Windows Vista™ Buisiness および Windows Vista™ Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット（x86）版のみに対応しています。
※Windows Vista™がプリインストールされているパソコン、Capable ロゴのついたパソコン、またはメーカーが Windows Vista™の利用を保証しているパソコンのみサポートしています。自作のパソコンはサポートしておりません。
Windows®XP は、Microsoft®Windows®XP Home Edition operating system および Microsoft®Windows®XP Professional operating system の略です。
Windows®2000 Professional は、Microsoft®Windows®2000 Professional operating system の略です。
Mac、Macintosh は、米国および他の国々で登録された Apple Computer,Inc.の商標です。
AirMac は、米国および他の国々で登録された Apple Computer,Inc.の商標です。
Netscape® は、米国 Netscape Communications Corporation の登録商標です。
Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Firefox® は､米国 Mozilla Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Safari は、Apple Computer,Inc.の商標です。
Opera は、Opera Software ASA の商標または登録商標です。
プレイステーションおよび PSP は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
ニンテンドー DS ブラウザー TM は、任天堂株式会社の商標です。
JavaScript® は、米国 Sun Microsystems. Inc.の登録商標です。
Linux® は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Acrobat® Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Atheros、XSPAN のロゴは、Atheros Comunications,Inc の登録商標です。
その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアのご使用条件

お客様へのお願い

添付のCD-ROMを開封される前に必ずお読みください。

このたびは、弊社Atermシリーズをお求めいただきありがとうございます。
本商品に添付のCD-ROMには、弊社が提供する各種ユーティリティやドライバソフトウェアが含まれています。弊社が提供するソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについては、下記の「NEC・NECアクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件」にご同意いただく必要がございます。

添付のCD-ROMを開封された場合はご同意をいただけたものと致します。

NEC・NECアクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件

日本電気株式会社・NECアクセステクニカ株式会社（以下「弊社」とします。）は、本使用条件とともに提供するソフトウェア製品（以下「許諾プログラム」とします。）を日本国内で使用する権利を、下記条項に基づきお客様に許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。なお、お客様が期待された効果を得るための許諾プログラムの選択、許諾プログラムの導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

1. 期間

（1）本ソフトウェアの使用条件は、お客様が添付CD-ROMを開封されたときに発効します。
（2）お客様は1ケ月以上事前に、弊社宛に書面により通知することにより、いつでも本使用条件により許諾される許諾プログラムの使用権を終了させることができます。
（3）弊社は、お客様が本使用条件のいずれかの条項に違反されたときは、いつでも許諾プログラムの使用権を終了させることができるものとします。
（4）許諾プログラムの使用権は、上記（2）または（3）により終了するまで有効に存続します。
（5）許諾プログラムの使用権が終了した場合には、本使用条件に基づくお客様のその他の権利も同時に終了するものとします。お客様は、許諾プログラムの使用権の終了後、ただちに許諾プログラムおよびそのすべての複製物を破棄するものとします。

2. 使用権

（1）お客様は、許諾プログラムを一時に1台のコンピュータにおいてのみインストールし、使用することができます。ただし、複数のコンピュータ接続ポートを持つAtermシリーズに同数のコンピュータを一時に接続しご使用になるお客様は、その接続ポート数までを限度としてコンピュータにインストールし、使用することができます。
（2）お客様は、前項に定める条件に従い、日本国内においてのみ許諾プログラムを使用することができます。

3. 許諾プログラムの複製、改変、および結合

（1）お客様は、滅失、毀損などに備える目的でのみ、許諾プログラムを一部に限り複製することができます。
（2）お客様は、許諾プログラムのすべての複製物に許諾プログラムに付されている著作権表示およびその他の権利表示を付するものとします。

（3） 本使用条件は、許諾プログラムに関する無体財産権をお客様に移転するものではありません。

4. 許諾プログラムの移転など

（1） お客様は、賃貸借、リースその他いかなる方法によっても許諾プログラムの使用を第三者に許諾してはなりません。ただし、第三者が本使用条件に従うこと、ならびにお客様が保有する Aterm シリーズ、許諾プログラムおよびその他関連資料をすべて引き渡すことを条件に、お客様は、許諾プログラムの使用権を当該第三者に移転することができます。

（2） お客様は、本使用条件で明示されている場合を除き許諾プログラムの使用、複製、改変、結合またはその他の処分をすることはできません。

5. 逆コンパイルなど

（1） お客様は、許諾プログラムをリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。

6. 保証の制限

（1） 弊社は、許諾プログラムに関していかなる保証も行いません。許諾プログラムに関し発生する問題は、お客様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。

（2） 前項の規定に関わらず、お客様による本商品のご購入の日から 1 年以内に弊社が許諾プログラムの誤り（バグ）を修正したときは、弊社は、かかる誤りを修正したプログラムもしくは修正のためのプログラム（以下「修正プログラム」といいます。）または、かかる修正に関する情報をお客様に提供するものとします。ただし、当該修正プログラムまたは情報をアフターサービスとして提供する決定を弊社がその裁量により為した場合に限ります。お客様に提供された修正プログラムは許諾プログラムと見なします。弊社では、弊社がその裁量により提供を決定した機能拡張のためのプログラムを提供する場合があります。このプログラムも許諾プログラムと見なします。

（3） 許諾プログラムの記録媒体に物理的欠陥（ただし、許諾プログラムの使用に支障をきたすものに限ります。）があった場合において、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から 14 日以内にかかる日付を記した領収書（もしくはその写し）を添えて、お求めになった取扱店に許諾プログラムを返却されたときには弊社は当該記憶媒体を無償で交換するものとし（ただし、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合に限ります。）これをもって記録媒体に関する唯一の保証とします。

7. 責任の制限

（1） 弊社はいかなる場合もお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、また予見し得た場合を含みます。）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害についていっさい責任を負いません。また弊社が損害賠償責任を負う場合には、弊社の損害賠償責任はその法律上の構成の如何を問わずお客様が実際にお支払いになった Aterm シリーズの代金額をもってその上限とします。

8. その他

（1） お客様は、いかなる方法によっても許諾プログラムおよびその複製物を日本国から輸出してはなりません。

（2） 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

以上

安全にお使いいただくために必ずお読みください

本書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマーク説明

⚠ 警　告　：人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注　意　：人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

STOP お願い　：本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

⚠ 警　告

電源

- AC100V の家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災、感電の原因となります。
  差込口が２つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の AC アダプタ（電源プラグ）を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。火災、感電の原因となります。
  また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。
- 本商品の AC アダプタ（電源プラグ）は、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。
- AC アダプタ（電源プラグ）は必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付の AC アダプタ（電源プラグ）は、他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

⚠ 警　告

● AC アダプタ（電源プラグ）にものをのせたり布を掛けたりしないでください。過熱し、ケースや電源コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となります。

● 本商品添付の AC アダプタ（電源プラグ）は日本国内 AC100V（50/60Hz）の電源専用です。他の電源で使用すると火災、感電、故障の原因となります。

● AC アダプタ（電源プラグ）は風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。

こんなときは

● 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

● 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一内部に水が入ったり、ぬらした場合は、すぐに本商品の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。

● 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。

● 電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本商品の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。

● 万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

⚠警　告

禁止事項

- 本商品は家庭用のOA機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- 本商品を分解・改造したりしないでください。火災、感電、故障の原因になります。
- ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

その他のご注意事項

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。
- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカなどが誤動作するなどの原因になることがあります。
  また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。
- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。
  人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

⚠注　意

設置場所

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
  また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
  ・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
  ・じゅうたんや布団の上に置く
  ・テーブルクロスなどを掛ける
- 本商品を重ね置きしないでください。重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、本商品を縦置きで使用する場合は、必ず添付のスタンドを使用して、本商品の両側は十分なスペースを確保してください。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。
- 本商品は垂直面以外の壁や天井などには取り付けないでください。振動などで落下し、故障、けがの原因になります。
- 本商品は、横置きにはしないでください。通風孔がふさがれ、内部に熱がこもり、故障の原因となったり、通信特性が悪化する原因になります。
- 本商品を落とさないでください。落下によって故障の原因になったり、そのまま使用すると火災・感電の原因になることがあります。万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。

⚠注　意

電源

- 本商品のACアダプタ（電源プラグ）はコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずACアダプタ（電源プラグ）をもって抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品のACアダプタ（電源プラグ）とコンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、本商品のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いてください。
- 本商品の使用中や使用直後、ACアダプタ（電源プラグ）は、高温になる場合があり、やけどなどのおそれがありますので注意してください。
- 本商品の使用中、長時間にわたり一定箇所を触れたままになっていると低温やけどを起こす可能性があります。

禁止事項

- 本商品に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。
- つなぎかたガイドに従って接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。
- 本商品のアンテナを誤って目に刺さないようにしてください。
- アンテナを持って本商品を持ち上げたり移動したりしないでください。
  故障の原因となることがあります。

お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。
  - ・振動が多い場所
  - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
  - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 電気製品・ＡＶ ・ＯＡ 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）
  - ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- 無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。1m以上離してお使いください。
- 本商品とコードレス電話機や電子レンジ、他のアクセスポイントなど、電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。また、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。

お願い

禁止事項

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 本商品を移動するときは、パソコンから取り外してください。故障の原因となることがあります。
- 動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には触れないでください。
- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。

日ごろのお手入れ

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
  ただし、コネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布ではは絶対にふかないでください。

その他のご注意

- 通信中にパソコンの電源が切れたり、本商品を取り外したりすると通信ができなくなったり、データが壊れたりします。重要なデータは元データと照合してください。

無線 LAN に関する注意

- 最大 300Mbps（理論値）や最大 54Mbps（規格値）、最大 11Mbps（規格値）は、IEEE802.11 の無線 LAN 規格で定められたデータ転送クロックの最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）ではありません。
- 本商品は IEEE802.11n の Draft 準拠製品であり、今後発売される正式規格対応商品や他社の Draft 準拠製品との相互接続性は保証の限りではありません。
- 無線 LAN の伝送距離や伝送速度は壁や家具・什器などの周辺環境により大きく変動します。
- IEEE802.11a の通信モードは、5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波を使用しており、屋外での使用は電波法により禁止されています。

無線 LAN 製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

　無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
　その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
  悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

- 不正に侵入される
  悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

　本来、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

　セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

　セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

目次

目　次

「機能詳細ガイド」目次

本商品の詳細な機能について説明した「機能詳細ガイド」がホームページにて掲載されています。以下に記載されている項目を示します。

機能詳細ガイド：AtermStation（http://121ware.com/aterm/）より、［サポートデスク］－［機能詳細ガイド］を選択してください。

本商品に添付の CD-ROM について

添付の CD-ROM には下記内容のソフトウェアやファイルが収録されています。ご使用の際には、表示される「メニュー画面」をよくお読みください。

① 無線 LAN カードの無線 LAN のセキュリティ設定や状態表示を行う「サテライトマネージャ」（Windows® 版）
② 無線 LAN カード用のドライバー式（Windows® 版）
③ Windows Vista™または Windows® XP（Service Pack 2）に対応している無線 LAN 内蔵パソコンから無線接続を行う「らくらく無線スタート EX」

【ご使用上のご注意】

Windows Vista™でご使用の方

- 添付の CD-ROM をセットしても「メニュー画面」は起動しません。［自動再生］画面の［Menu.exe の実行］をクリックしてください。
- CD-ROM をパソコンから取り出す時には､｢メニュー画面｣を閉じたあとに行ってください｡
- Windows Vista™でサテライトマネージャ、ドライバとユーティリティのアンインストールを実行する場合は、Administrator（権限のあるアカウント）でログオンしてください。

Windows® XP/2000 Professional でご使用の方

- 添付の CD-ROM をセットしても「メニュー画面」が起動しない場合は、以下の操作を行います。
  ① Windows® の［スタート］をクリックし、［ファイル名を指定して実行］を選択する
  ②名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と ¥menu.exe と入力し、［OK］をクリックする
  （例： CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q ： ¥menu.exe）
  また、パソコンにより異なりますが、自動起動しないようにするには、「Shift」キーを押しながら CD-ROM をセットします。
- CD-ROM をパソコンから取り出す時には、「メニュー画面」を閉じたあとに行ってください。
- Windows® XP/2000 Professional でサテライトマネージャ、ドライバのアンインストールを実行する場合は、Administrator（権限のあるアカウント）でログオンしてください。

CD-ROM の動作環境

● Windows® 動作環境

・ Windows Vista™または、Windows® XP/2000 Professional が正しく動作し、CD-ROM ドライブが使用できること。

・ 推奨環境

■ Windows® XP/2000 Professional の場合

Windows® の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ
ハードディスクの空き容量： 40MB 以上を推奨
メモリ容量： 256MB 以上を推奨
800 × 600 High-Color 以上表示可能なビデオカードを備えたパソコンと、同解像度以上に対応したカラーモニタ

■ Windows Vista™の場合

Windows Vista™の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ
ハードディスクの空き容量： 40MB 以上
メモリ容量： 512MB 以上を推奨
800 × 600　High-Color 以上表示可能なビデオカードを備えたパソコンと、同解像度以上に対応したカラーモニタ
※Windows Vista™がプリインストールされているパソコン、Capable ロゴのついたパソコン、またはメーカーが Windows Vista™の利用を保証しているパソコンのみサポートしています。
自作のパソコンはサポートしておりません。

お知らせ

●表示画面

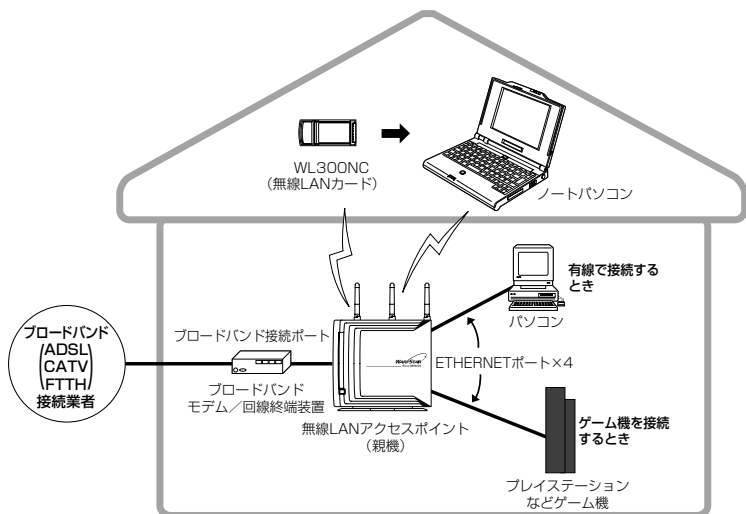
・サイズ ：800 × 600 ピクセル以上
・色　　 ：High-Color 以上

上記以外の設定でも表示はできますが、画像にモアレ模様や色ずれが発生する場合があります。

●「メニュー画面」とらくらく無線スタートの画面がお互いの画面の背面に隠れて消えてしまった場合には、次の操作で画面を切り替えることができます。

・ Windows® ： Alt キーを押しながら、Tab キーを押す

本商品でできること

本商品は、外付け ADSL モデム／CATV ケーブルモデム／FTTH 回線終端装置を接続してインターネットを利用できるブロードバンドルータです。

無線 LAN 端末（子機）から設定する場合の設定方法については、「つなぎかたガイド」を参照してください。

本商品では、さらにホームページに掲載されている「機能詳細ガイド」で記載している機能をご利用になることができます。設定方法については、それぞれの参照先をご覧ください。

●本書では、機器名称を次のように呼びます。

機器名称	本文中で使用している名称
ADSL モデム、CATV ケーブルモデム	ブロードバンドモデム
FTTH 回線終端装置	回線終端装置

■無線LAN通信

● **Draft IEEE802.11n、IEEE802.11a（5GHz帯）、IEEE802.11g（2.4GHz帯）、IEEE802.11b（2.4GHz帯）に準拠した無線LAN端末（子機）と無線通信を行うことができます。**
※無線で届く範囲は環境によって異なります。

● **W52帯、W53帯、W56帯対応**
本商品は5GHz帯（W52、W53、W56）に対応しており、5GHz帯で19チャネルがご利用になれます。

タイプ	チャネル	周波数帯域	補足
W52	36, 40, 44, 48ch	5.2GHz帯 (5150-5250MHz)	デュアルチャネルモード（HT40）がご利用になれます。
W53	52, 56, 60, 64ch	5.3GHz帯 (5250-5350MHz)	デュアルチャネルモード（HT40）はご利用になれません。 レーダーを検出した場合には、使用しているチャネルを停止し、一定時間後、別のチャネルに移ります。
W56	100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch	5.6GHz帯 (5470-5725MHz)	

ただし、W52帯、W53帯、W56帯でご利用になるには、ご利用の無線LAN端末（子機）がW52帯、W53帯、W56帯に対応している必要があります。
従来のJ52帯を使用する無線LAN端末（子機）とは通信できません。
以下の相互接続一覧表を参照のうえ、ご注意ください。
Aterm子機のバージョンアップ対応機種などの最新情報は、別紙に示すお問い合わせ先のホームページなどでご確認ください。

無線LAN端末（子機）／無線LAN アクセスポイント（親機）	IEEE802.11a（J52）対応無線LAN端末（子機）	WL300NC（J52,W52,W53,W56）
WR8400N（W52,W53,W56）	×	◎
IEEE802.11a（J52）対応無線LAN アクセスポイント（親機）	△	△
IEEE802.11a（W52,W53）対応無線LANアクセスポイント（親機）	×	○

◎：W52帯（5150-5250MHz）、W53帯（5250-5350MHz）、W56帯（5470-5725MHz）を使用して、最大19チャネルから選択が可能です。
○：W52帯（5150-5250MHz）、W53帯（5250-5350MHz）を使用して、最大８チャネルから選択が可能です。
△：J52帯（5150-5250MHz）を使用して、最大４チャネルから選択が可能です。
×：利用不可。

（次ページに続く）

■無線 LAN 通信

●無線 LAN 内のセキュリティ対策

他の無線 LAN パソコンから無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続されるのを防いだり、無線通信を暗号化して、通信の傍受を防ぎます。（☛P48）
無線通信が外から覗かれたり、無線 LAN アクセスポイント（親機）に他の無線 LAN 端末（子機）が無断で接続されるのを防ぐためセキュリティ対策をすることをお勧めします。
※本商品には、あらかじめ AES の暗号化キーが設定されています。

●無線 LAN 端末（子機）を増設する（機能詳細ガイド）

無線 LAN 端末（子機）として別売りの次の機器を増設できます。

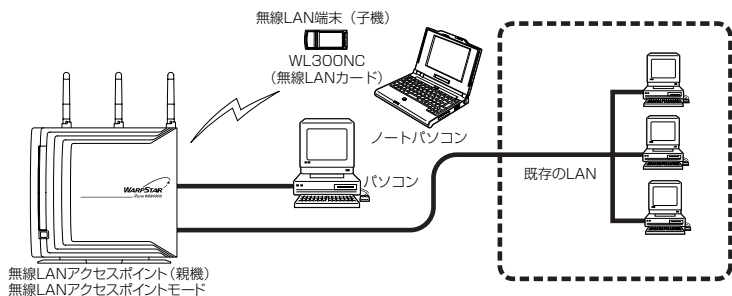
Draft IEEE802.11n 通信 ：WL300NC/WL130NC
IEEE802.11a 通信 ：WL300NC/WL54SC/WL54SU/WL54SE
IEEE802.11b 通信 ：WL300NC/WL130NC/WL54SC/WL54AG/WL54SU/WL54TU/WL54SE/WL54TE/WL11CB/WL11CA/WL11C2/WL11C/WL11U/WL11U（W）/WL11E2
IEEE802.11g 通信 ：WL300NC/WL130NC/WL54SC/WL54AG/WL54SU/WL54TU/WL54SE/WL54TE

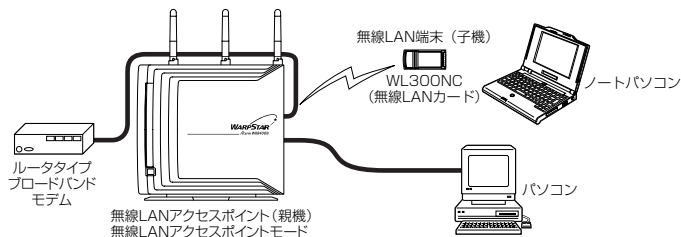
※WL54AG-SD、WL54AG（S）は WL54AG に含まれます。
※接続する無線 LAN 端末（子機）によって通信速度が異なります。
※WL11E2 を接続する場合、無線 LAN アクセスポイント（親機）の無線 LAN 暗号化設定は、WEP128bit 16 進に設定を変更する必要があります。
※WL11CA/WL11CB/WL11C2 を接続する場合、無線 LAN アクセスポイント（親機）の無線 LAN 暗号化設定は、WEP128bit 設定に変更する必要があります。

また、無線 LAN アクセスポイント（親機）が使用している通信規格と同じ通信規格の無線 LAN 内蔵パソコンを増設できます。（パソコンの機種により、機能制限があったり、接続できない場合があります。）
無線 LAN は、10 台以下でのご使用をお勧めします。

■本商品を無線 LAN アクセスポイントとして使う

●既存 LAN に接続する場合

既存 LAN に有線・無線で接続する場合に、本商品のルータ機能を停止してハブや無線 LAN アクセスポイントとして使用することができます。（機能詳細ガイド）

●ルータに接続する場合

ルータタイプのブロードバンドモデムに接続するときには、本商品のルータ機能を停止して無線 LAN アクセスポイントモードで接続します。（機能詳細ガイド）

■セキュリティ対策をする

ブロードバンド回線側からの不正なアクセスについてセキュリティ対策をすることができます。（機能詳細ガイド）

- IP パケットフィルタリング
- アドバンスドNAT（IP マスカレード／ NAPT）
- 不正アクセス検出機能
- ダイナミックポートコントロール機能
- インターネット悪質サイトブロック

■マルチSSID

本商品では2つのSSID（プライマリ／セカンダリ）を利用可能です。

プライマリSSID：（初期値はWARPSTAR-xxxxxx）
暗号化方式としてWEP/TKIP/AESが利用可能。(初期値はAES)
AESが設定されている場合のみ、Draft IEEE802.11nによる高速通信が利用可能。
セカンダリSSID：（初期値はWARPSTAR-xxxxxx-W）
暗号化方式としてWEPのみ利用可能。(初期値は128bitWEP)
Draft IEEE802.11nによる高速通信は利用不可。

両SSIDは同時に動作しているため、AESを利用可能な無線LAN端末と、ニンテンドーDSなどWEPのみが利用可能な無線LAN端末が共存可能です。

なお、らくらく無線スタート利用時には、子機の無線LAN規格に応じて、どちらのSSIDに接続するかは自動選択・設定されますので、通常、2つのSSIDの存在を意識していただく必要はありません。

■デュアルチャネル

本商品では、無線LAN通信で利用する通信チャネルの幅を、従来の20MHz幅から40MHz幅に拡大することにより、従来比約2倍の通信速度(理論値最大300Mbps)を実現するデュアルチャネル通信機能を搭載しています。(初期値は有効)
本商品でデュアルチャネル通信機能が利用可能な周波数帯は、2.4GHz帯（計7チャネル）および5.2GHz帯（計2チャネル）です。
これ以外の周波数帯にて動作させた場合は、通常の20MHz幅を用いた通信（理論値最大130Mbps）となります。

■オートチャネルセレクト

本商品の起動時に、周囲にあるアクセスポイントを検出し、電波状態の良いチャネルを自動選択します。
工場出荷状態では2.4GHz帯のみサーチするに設定されています。
クイック設定Webで設定することにより、5GHz帯もサーチ対象帯域に加え、2.4GHz帯と5GHz帯の最大32チャネルから自動選択させることも可能です。
※デュアルチャネル有効設定時（初期値）は、2.4GHz帯（7チャネル）と5.2GHz帯（2チャネル）のみが指定可能です。
※無線ネットワーク内に5GHz帯が利用できない無線LAN端末が1台でもある場合は、サーチ対象帯域に5GHz帯を加えないようにご注意ください。

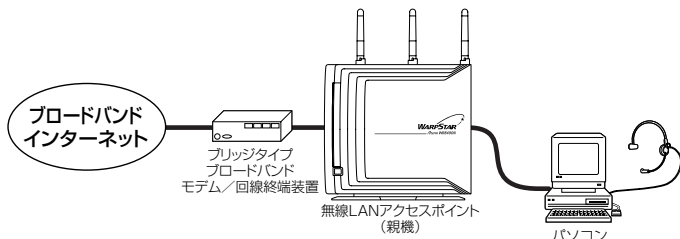
■ゲーム機を接続する

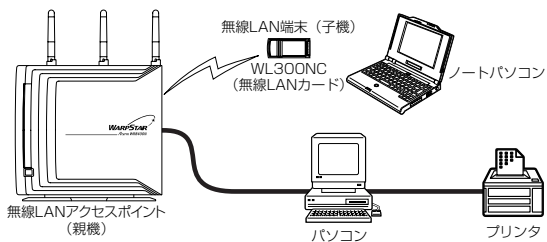
“PlayStation® 2”および“PlayStation® 3”などネットワークゲーム機を接続することができます。
使用するゲーム機やゲームソフトがPPPoEでの通信を前提としている場合は、PPPoEブリッジ機能（機能詳細ガイド）で接続できます。（※使用する回線がPPPoE接続方式の場合のみ）

■パソコンのネットワークゲームやTV電話を利用する

次の機能を利用して、ネットワークゲームをすることができます。（機能詳細ガイド）

・ポートマッピングの設定
・PPPoEブリッジ機能

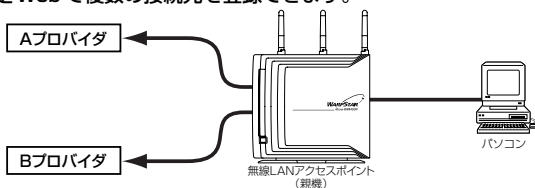
また、UPnP機能を使用してWindows® XPの"Windows Messenger"サービスなどでTV電話などの機能をご利用になれます。（機能詳細ガイド）

■ファイルやプリンタを他のパソコンと共有する

（機能詳細ガイド）

※本商品の機能ではありません。Windows® の 共有機能の設定になります。

■インターネットの通信を切断する

・クイック設定Webの［情報］－［現在の状態］で切断できます。（自動で再接続を行います。）（機能詳細ガイド）

■複数のアクセス先（プロバイダ）を設定する

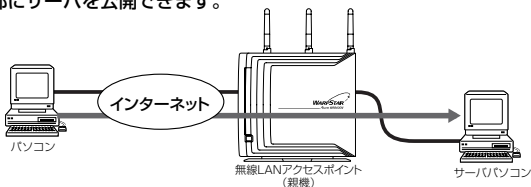
クイック設定 Web で複数の接続先を登録できます。

●PPPoE マルチセッション（機能詳細ガイド）

1 つの回線契約で複数（最大５セッション）の接続先へ同時に接続を行うことができます。

※ご利用の接続事業者やプロバイダとの契約内容で、マルチセッション接続が許可されている必要があります。
同時に接続できるセッション数は契約内容により異なりますので、ご利用の接続事業者やプロバイダにご確認ください。

■SOHO で使用するときに便利な機能

●ホームページを公開するなど、外部にサーバを公開する（機能詳細ガイド）

ポートマッピング（アドバンスド NAT オプション）、DMZ ホスティング機能を利用して外部にサーバを公開できます。

●会社のネットワークに自宅から接続するなど VPN に接続する（VPN（PPTP/IPsec）パススルー機能）（機能詳細ガイド）

VPN（Virtual Private Network ：仮想閉域網）に PPTP/IPsec で接続できます。

■知っておくと便利な機能

●バージョンアップする（機能詳細ガイド）

各種ユーティリティやファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、新しい機能を追加したり、場合によっては動作を改善します。

●設定を保存する（機能詳細ガイド）

クイック設定 Web で、現在の設定内容を保存できます。無線 LAN アクセスポイント（親機）を初期化した場合に、保存済みのバックアップファイルから無線 LAN アクセスポイント（親機）に設定内容を復元することができます。

●初期化する（☛P92）

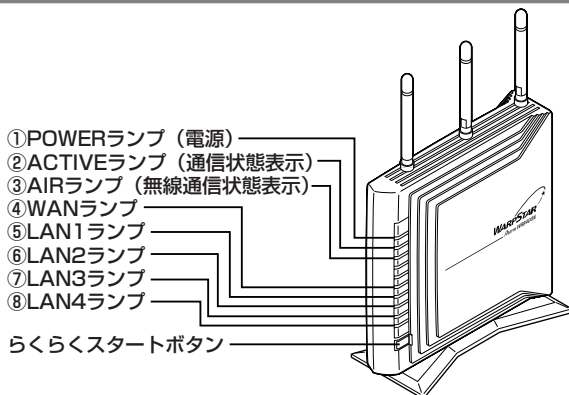
設定内容を工場出荷の状態に戻します。
うまく動作しない場合や、もう一度初めから設定したいときにお使いいただけます。

箱の中身を確認しよう

設置を始める前に、構成品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、別紙に示すお問い合わせ先にご連絡ください。

●構成品

各部の名称とはたらき

WR8400N（無線LANアクセスポイント（親機））

【ランプ表示】

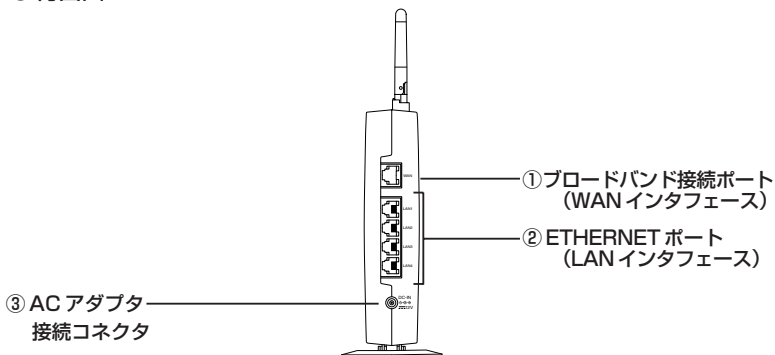
ランプの種類	ランプの色(つきかた)	本商品の状態
① POWER ランプ（電源）	緑（点灯）	電源が入っているとき、またはらくらくネットスタートでローカルルータモード／無線 LAN アクセスポイントモードを検出したとき
	緑（遅い点滅）	らくらくネットスタートモード認識中
	橙（点灯）	ファームウェアをバージョンアップしているとき、またはらくらく無線スタートの設定が完了したとき
	橙（点滅）	らくらくネットスタートで PPPoE モードを検出したとき
	緑（点滅）／橙（点滅）	らくらく無線スタートで設定をしているとき（☛「つなぎかたガイド」参照）
	赤（点滅）	初期化準備状態のとき、またはらくらくネットスタートで認識失敗したとき
	赤（点灯）	らくらく無線スタートで設定が失敗したとき
	消灯	電源が入ってないとき
② ACTIVE ランプ（通信状態表示）	緑（点灯）	PPPoE ルータモードで PPP リンクが確立しているとき、またはローカルルータモードで WAN 側に IP アドレスが設定されているとき
	橙（点灯）	動作モードが無線 LAN アクセスポイントモードのとき
	橙（点滅）	らくらくネットスタートで PPPoE モードを検出したとき アクセスポイントモードで IP アドレスを競合検出したとき
	緑（速い点滅）	動作モードが PPPoE モードの場合に相手からの応答を確認しているとき（☛P74）
	緑（遅い点滅）	らくらくネットスタートモード認識中または動作モードが PPPoE モードの場合に PPP 認証を再確認しているとき（1 秒間隔）（☛P74）

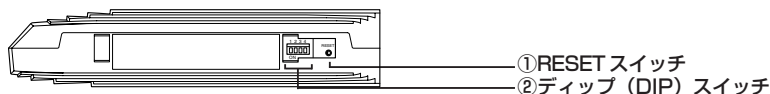
ランプの種類	ランプの色(つきかた)	本商品の状態
② ACTIVE ランプ（通信状態表示）	赤（点滅）	らくらくネットスタートで認識失敗したとき
	消灯	PPPoE 接続で PPP リンクが確立していない、または WAN 側に IP アドレスが設定されていないとき
③ AIR ランプ（無線通信状態表示）	緑（点灯）	2.4GHz モードで通信可能なとき※ 1
	緑（速い点滅）	2.4GHz モードでデータ送受信しているとき※ 1
	緑（遅い点滅）	らくらくネットスタートモード認識中
	橙（点灯）	5GHz モードで通信可能なとき※ 2
	橙（速い点滅）	5GHz モードでデータ送受信しているとき※ 2
	橙（点滅）	らくらくネットスタートで PPPoE モードを検出したとき
	赤（点滅）	らくらくネットスタートで認識失敗したとき またはレーダー波をサーチしているとき
	消灯	無線 LAN を使用しないとき
④ WAN ランプ	緑（点灯）	WAN ポートのリンクが確立しているとき
	緑（点滅）	WAN ポートがデータ送受信しているとき
	消灯	WAN ポートのリンクが確立していないとき
⑤ LAN1 ランプ	緑（点灯）	LAN ポート 1 のリンクが確立しているとき
	緑（点滅）	LAN ポート 1 がデータ送受信しているとき
	消灯	LAN ポート 1 のリンクが確立していないとき
⑥ LAN2 ランプ	緑（点灯）	LAN ポート 2 のリンクが確立しているとき
	緑（点滅）	LAN ポート 2 がデータ送受信しているとき
	消灯	LAN ポート 2 のリンクが確立していないとき
⑦ LAN3 ランプ	緑（点灯）	LAN ポート 3 のリンクが確立しているとき
	緑（点滅）	LAN ポート 3 がデータ送受信しているとき
	消灯	LAN ポート 3 のリンクが確立していないとき
⑧ LAN4 ランプ	緑（点灯）	LAN ポート 4 のリンクが確立しているとき
	緑（点滅）	LAN ポート 4 がデータ送受信しているとき
	消灯	LAN ポート 4 のリンクが確立していないとき

※ 1　2.4GHz モードは IEEE802.11g+b（+Draft 11n）モードです
※ 2　5GHz モードは IEEE802.11a（+Draft 11n）モードです

【設定ボタン】

名　称	説　明
らくらくスタートボタン	らくらく無線スタートで設定するときに使用します。 （☛「つなぎかたガイド」参照） らくらくネットスタートを起動するときに使用します。 （☛「つなぎかたガイド」参照）

●背面図

名　称	説　明
① ブロードバンド接続ポート（WAN インタフェース）	ブロードバンドモデム／回線終端装置との接続に使用します。
② ETHERNET ポート（LAN インタフェース）	パソコンまたはゲーム機などと接続します。
③ AC アダプタ接続コネクタ	WR8400N 用 AC アダプタを接続します。

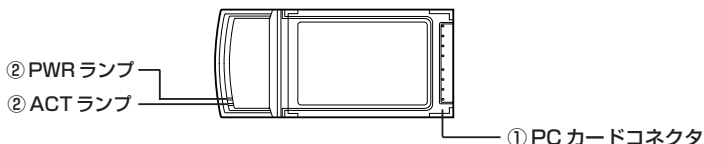
●底面図

名　称	説　明
①RESET スイッチ	初期化するときに使用します。（☛P93）
② ディップ（DIP）スイッチ 1 2 3 4 ON	本商品のモードを設定するときに使用します。

ディップ（DIP）スイッチ	ラベル表示	機　能	
		ON	OFF
1	AP	強制アクセスポイントモード	通常動作モード（初期値ルータモード）
2	（NotUSE）	未使用	未使用
3	WEP	（128bit）強制 WEP モード ※プライマリ SSID にのみ有効	通常暗号化モード（初期値 AES）
4	HI-SEC	スーパーセキュリティモード有効（ステルス･MAC フィルタ強制 ON）	通常モード（初期値）

お知らせ

- WEP モード/スーパーセキュリティモードは、ディップスイッチを ON にして本商品を起動することで設定されます。この設定は、クイック設定 Web で変更することができますが、本商品を再起動すると、ディップスイッチのモードに設定されます。
- WEP モード/スーパーセキュリティモードは、ディップスイッチで設定された状態で、クイック設定 Web で設定を保存する、またはらくらく無線スタートでの設定を行うと、設定値は保持されます。この場合、ディップスイッチを OFF にしても設定したモードが有効になります。

WL300NC（無線 LAN 端末（子機））

ワイヤレスカードセットにのみ添付されています。

① PC カードコネクタ

パソコンの PC カードスロットに差し込みます。

(注)ドライバのインストール時は、ユーティリティで指示があるまでは差し込まないでください。

② PWR ランプ（電源）／ACT ランプ（通信表示）

【ランプ表示】

PWR ランプ、ACT ランプのつきかた	WL300NC（無線 LAN カード） の状態
2 つのランプが同時に緑点滅	通信中(通信量により点滅速度が変化します)
2 つのランプが同時に遅く緑点滅	通信待機中(通信可能状態ですが、データ送受信が行われていません)
2 つのランプが交互に遅く緑点滅	無線 LAN アクセスポイント(親機)サーチ中(無線接続が確立されていません)
2 つのランプが消灯	電源が入っていないとき(無線接続設定がされていないとき、またはドライバ無効の状態)

お願い

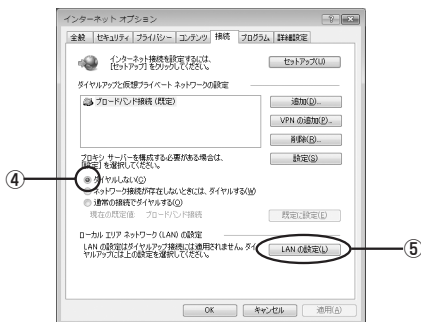
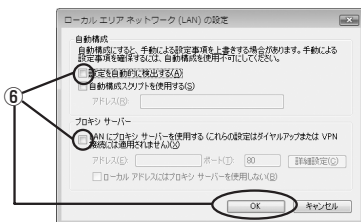
- PC カードコネクタには手を触れないでください。故障の原因となります。
- WL300NC（無線 LAN カード）を同じパソコンに複数同時に使用することはできません。また、他のネットワークデバイス（Ethernet ポートデバイスなど）とも同時に使用することはできません。1 台のパソコンに対して使用するネットワークデバイスは 1 つだけにしてください。
- WL300NC（無線 LAN カード）は、無線 LAN 端末（子機）専用です。無線 LAN アクセスポイント（親機）に装着してご使用になることはできません。

あらかじめ確認してください

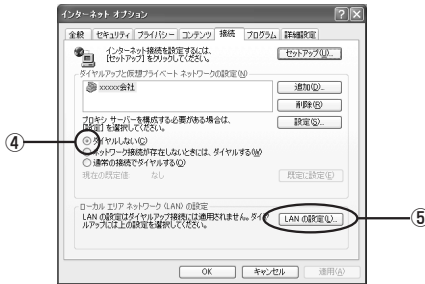
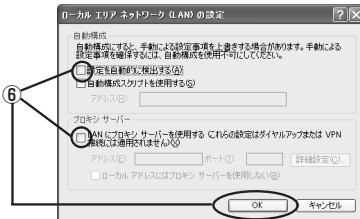
WWW ブラウザの設定確認

WWW ブラウザ（Internet Explorer など）の接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に変更します。
以下は Windows Vista™で Internet Explorer 7.0 および、Windows® XP/2000 Professional で Internet Explorer 6.0 をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の使用環境（プロバイダやソフトウェアなど）によっても変わりますので、詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

●Windows Vista™で Internet Explorer 7.0 の場合

① Internet Explorer を起動する。
② [ツール] の [インターネットオプション] を選択する。
③ [接続] タブをクリックする。
④ ダイヤルアップの設定の欄で、[ダイヤルしない] を選択する。
グレーアウトしている場合は⑤へ進みます。

⑤ [LAN の設定] をクリックする。
⑥ [設定を自動的に検出する] と [LAN にプロキシサーバーを使用する] の ☑ を外して [OK] をクリックする。
プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、従ってください。

⑦ [OK] をクリックする。

●Windows ® XP/2000 Professional で Internet Explorer 6.0 の場合

① Internet Explorer を起動する。
② [ツール] の [インターネットオプション] を選択する。
③ [接続] タブをクリックする。
④ ダイヤルアップの設定の欄で、[ダイヤルしない] を選択する。
　グレーアウトしている場合は⑤へ進みます。

⑤ [LAN の設定] をクリックする。
⑥ [設定を自動的に検出する] と [LAN にプロキシサーバーを使用する] の ☑ を外して [OK] をクリックする。
　プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、従ってください。

⑦ [OK] をクリックする。

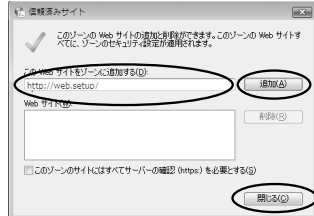
●プロバイダ専用の CD-ROM やパソコンにプリインストールされているサインアッププログラム（プロバイダへの申し込みソフト）は、ダイヤルアップ接続（アナログモデムやターミナルアダプタの接続）専用のものがあります。その場合、本商品に LAN 接続されたパソコンからは実行できません。また、専用の接続ソフトが必要なプロバイダにはルータ接続できない場合があります。プログラムの使用方法など、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカーにご確認ください。

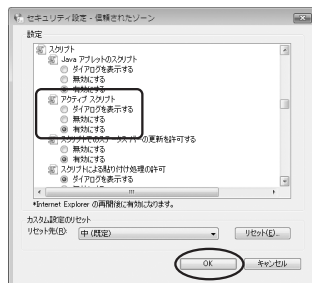
JavaScript® の設定を確認する

WWWブラウザ（クイック設定 Web）で設定を行うには JavaScript® の設定を有効にする必要があります。
※ WWW ブラウザの設定でセキュリティを「高」に設定した場合、本商品の管理者パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript® を「有効にする」に設定してください。

Windows® で Internet Explorer をご利用の場合

以下は、Windows Vista™で Internet Explorer 7.0 を使用している場合の例です。なお、Windows® XP/2000 Professional で設定する場合も、下記と同じ手順で設定できます。

1. ［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［クラシック表示］（Windows® XP の場合は［クラシック表示に切り替える］）－［インターネットオプション］をダブルクリックする
   ※ Windows® 2000 の場合は、［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］－［インターネットオプション］をダブルクリックします。
2. ［セキュリティ］タブをクリックし、［信頼済みサイト］をクリックする
3. ［サイト］をクリックする
4. ［このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする］のチェックを外す
5. ［次の Web サイトをゾーンに追加する］に「http://web.setup/」を入力し［追加］をクリックし、［閉じる］（Internet Explorer 6.0 の場合は［OK］）をクリックする
   ※ IP アドレス（工場出荷時は 192.168.0.1）を入力して設定画面を開く場合には、IP アドレスを入力します。（例：「192.168.0.1」）
   無線 LAN アクセスポイントモードに設定した場合は、自動的に設定された IP アドレスを入力してください。IP アドレスを変更した場合は、設定した IP アドレスを入力してください。
   らくらくネットスタートを使用してローカルルータモードを判別した場合は、IP アドレスを 192.168.0.1 または 192.168.1.1 と入力してください。

6 ［レベルのカスタマイズ］をクリックする

7 画面をスクロールし、［アクティブ スクリプト］を［有効にする］に変更し、［OK］をクリックする

8 ［OK］をクリックする

Windows® で Netscape® をご利用の場合

以下は、Windows® XP で Netscape® 7.1 を使用している場合の例です。なお、Windows® 2000 Professional で設定する場合や Netscape® 7.0 以上を使用している場合も、下記と同じ手順で設定できます。

1 Netscape® を起動する

2 メニューバーの［編集］－［設定］をクリックする

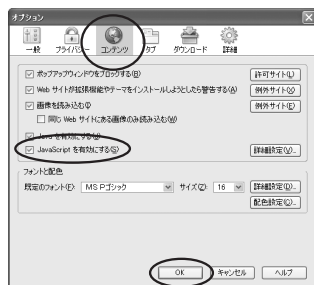
3 ［カテゴリ］の中から［詳細］－［スクリプトとプラグイン］をクリックする

4 ［JavaScript を有効にする］の［Navigator］にチェックを入れる

5 ［OK］をクリックする

Windows® で Firefox® をご利用の場合

以下は、Windows® XP で Firefox® 1.5 を使用している場合の例です。なお、Windows® 2000 Professional で設定する場合や Firefox® 1.5 以上を使用している場合も、下記と同じ手順で設定できます。

1. Firefox® を起動する
2. メニューバーの［ツール］－［オプション］をクリックする
3. ［コンテンツ］をクリックする
4. ［JavaScript を有効にする］にチェックを入れる
5. ［OK］をクリックする

Windows® で Opera をご利用の場合の設定方法は「機能詳細ガイド」をご覧ください。

Mac OS X で Internet Explorer をご利用の場合

以下は、Mac OS で Internet Explorer 5.1 を使用している場合の例です。

1 Internet Explorer を起動してメニューバーの［Explorer］から［環境設定］をクリックする

2 ［Web ブラウザ］から［セキュリティゾーン］をクリックする

3 ［ゾーン］から［信頼済みサイトゾーン］をクリックする

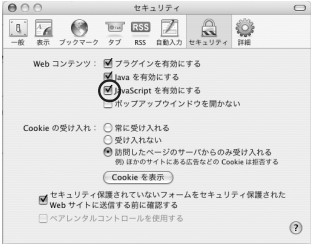
4 ［サイトの追加］をクリックする

5 ［追加］をクリックする

6 「http://web.setup/」と入力する

※ IP アドレス（工場出荷時は 192.168.0.1）を入力して設定画面を開く場合には、IP アドレスを入力します。（例：「192.168.0.1」）
無線 LAN アクセスポイントモードに設定した場合は、自動的に設定された IP アドレスを入力してください。IP アドレスを変更した場合は、設定した IP アドレスを入力してください。
らくらくネットスタートを使用してローカルルータモードを判別した場合は、IP アドレスを 192.168.0.1 または 192.168.1.1 と入力してください。

7 ［このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする］のチェックを外し、［OK］をクリックする

8 ［Web ブラウザ］から［Web コンテンツ］をクリックする

9 ［アクティブコンテンツ］で、［スクリプトを有効にする］にチェックを入れる

10 ［OK］をクリックし、メニューバーの[Explorer]から[Explorer 終了]をクリックする

※ Internet Explorer を一度終了させないと、設定は反映されません。

Mac OS で Netscape® をご利用の場合

以下は、Mac OS で Netscape® 7.1 を使用している場合の例です。なお、Mac OS で Netscape® 6.1 を使用している場合も、下記と同じ手順で設定できます。

1 Netscape® を起動する

2 メニューバーの［Netscape］－［環境設定］をクリックする

3 ［カテゴリ］の中から［詳細］－［スクリプトとプラグイン］をクリックする

4 ［JavaScript を有効にする］の［Navigator］にチェックを入れる

5 ［OK］をクリックする

6 メニューバーの［Netscape］から［Netscape 終了］をクリックし、Netscape® を終了させる

※ Netscape® を一度終了させないと、設定は反映されません。

Mac OS で Safari をご利用の場合

以下は、Mac OS で Safari2.0 を使用している場合の例です。

1 Safari を起動する

2 メニューバーの［Safari］－［環境設定］をクリックする

3 ［セキュリティ］をクリックする

4 ［JavaScript を有効にする］にチェックを入れる

5 メニューバーの［Safari］から［Safari 終了］をクリックし、Safari を終了させる

Mac OS で Firefox® をご利用の場合、または、Mac OS で Opera をご利用の場合の設定方法は「機能詳細ガイド」をご覧ください。

設定方法について

無線 LAN で設定する場合には、「つなぎかたガイド」を参照して①らくらく無線スタート→②らくらくネットスタートの順で設定してください。
無線 LAN アクセスポイント（親機）の ETHERNET ポートに接続したパソコンから設定する場合は、らくらくネットスタートで設定します。

1 ● 子機を自動で設定する（らくらく無線スタートで親機の無線設定を子機に設定する）

WL300NC（無線 LAN カード）を接続する場合の設定方法です。
無線 LAN カードのドライバのインストールや無線設定を簡単に行うことができます。設定には、サテライトマネージャのインストールが必要です。

<サテライトマネージャが使用できるパソコン>
Windows Vista™および Windows® XP/2000 Professional（日本語版）

※WL300NC（無線 LAN カード）は Windows® Me/98、Macintosh ではご使用になれません。

※音声ガイドを再生するには、パソコンに WAV ファイルが再生可能なサウンドデバイスが必要になります。

※Windows Vista™および Windows® XP（Service Pack 2 以降）を搭載したパソコンの場合、無線 LAN 内蔵パソコンなどでもらくらく無線スタート EX で設定することができます。

2 ● 親機を自動で設定する（らくらくネットスタートで設定する）

本商品のインターネット接続のための設定を、らくらくネットスタート機能によって自動的に行うことができます。
らくらくネットスタートは、らくらくスタートボタンを押しながら電源を入れることで、自動的に本商品のＷＡＮ側の回線状態を判別または設定を行う機能です。

3 ● 親機を手動で設定する（クイック設定 Web（WWW ブラウザ）で設定する）

らくらくネットスタートで、WAN 側回線の判別に失敗したときの設定や詳細な設定を行いたいときに利用します。

WWW ブラウザの画面で、無線 LAN アクセスポイント（親機）のすべての設定が行えます。

※ドライバのインストール、無線 LAN 端末（子機）の無線設定については行えません。

本商品をご購入後、はじめてクイック設定 Web を開くと「らくらく Web ウィザード」が表示され、インターネット接続のための基本的な設定を行うことができます。（らくらくネットスタートで設定完了している場合は表示されません）

※WL300NC（無線 LAN カード）を装着したパソコンから無線接続で設定を行う場合は、パソコンにドライバをインストールした後、らくらく無線スタートなどで無線 LAN アクセスポイント（親機）の無線設定をパソコンに設定しておいてください。

<設定できる WWW ブラウザ>

■Windows Vista™の場合
Internet Explorer 7.0 に対応

■Windows ® XP の場合
Internet Explorer 7.0 に対応
Internet Explorer 6.0 SP2 に対応
（Windows® XP SP2 の場合）
Netscape® 7.1 に対応
Firefox® 1.5 に対応
Opera 9.0 に対応

■Windows ® 2000 Professional の場合
Internet Explorer 6.0 SP1 に対応
Netscape® 7.1 に対応
Firefox® 1.5 に対応
Opera 9.0 に対応

〈画面例〉

■ Mac OS X v10.3/v10.4 の場合
Safari 2.0 に対応（v10.4 Tiger の場合）
Safari 1.3 に対応（v10.3 Panther の場合）
Netscape® 7.1 に対応
Firefox® 1.5 に対応
Opera 9.0 に対応

■ゲーム系
PSP® 「プレイステーション・ポータブル」本体のインターネットブラウザに対応
※PSP ® 「プレイステーション・ポータブル」本体のインターネットブラウザをお使いの場合は、表示モードを標準またはジャストフィットでご利用ください。
※PSP ® 「プレイステーション・ポータブル」本体のインターネットブラウザをお使いの場合は、全角文字の指定できる最大文字数が他のブラウザと異なり、入力できる文字数は最大全角 21 文字です。
ニンテンドー DS ブラウザー TM に対応

無線LANアクセスポイント（親機）を設置する

無線LANアクセスポイント（親機）の置き場所を決めよう

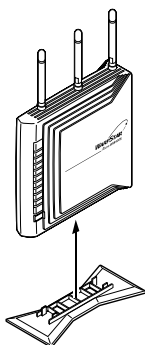
無線LANアクセスポイント（親機）には電源、回線、パソコンなどを接続します。ケーブルの長さが決まっているものもあるので、ポイントとなる点をいくつかあげます。

- **無線LANアクセスポイント（親機）はブロードバンドモデム／回線終端装置のそばに置く**
- **無線LANアクセスポイント（親機）用の電源コンセントはあるか？**
  電源コンセントを確保しましょう。
- **無線LAN端末（子機）は無線LANアクセスポイント（親機）から無線で電波の届く距離に置く**
  設定するときは無線LANアクセスポイント（親機）のそばで設定しましょう。

お知らせ

- 無線で届く範囲は壁や家具、什器など周囲の環境により利用できる範囲は短くなります。
- 無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）は1m以上離してお使いください。
- 近接するアクセスポイントと異なるチャネルに設定してご利用ください。至近距離に同じチャネルのアクセスポイントがあるとレーダ波とみなして、自動で予備チャネルへの切り替え、または無線動作の一時停止を行う場合があります。
- 本商品のアンテナは出荷時には折りたたまれています。設置の際には、それぞれのアンテナを伸ばしてお使いください。
- 本商品のアンテナは回転するようになっています。十分な通信特性を得るために、それぞれのアンテナを近づけないように、立てて設置してください。

■縦置きの場合

図のようにスタンドを取り付けます。

スタンドを外す場合は

図のように、スタンドの両端を矢印の方向にひねるように、取り外してください

■壁掛けの場合

図のように壁に取り付けます。

1 **あらかじめ、添付のスタンドを底面が壁側になるように壁掛け用ネジ（添付品）で取り付け、図のようにラバーシート（添付品）を取り付ける**

※ラバーシートは壁掛けの場合に使用し、縦置きの場合には使用しないでください。無線LANアクセスポイント（親機）の底面にあるラベルがはがれる場合があります。

2 **図のように取り付ける**

お願い

- スタンドにラバーシート（添付品）を取り付けたあと、保護シートをはがしてください。
- ほこり・ゴミなどがラバーシート（添付品）に付着するとスタンドへの密着強度が減少します。その場合には中性洗剤や水にてほこり・ゴミなどを洗い流してください。洗浄にて密着強度が増します。洗浄の際には、スタンドを本体から取り外してください。
- ラバーシート（添付品）をご使用にならない場合には、お子さまの手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んだ場合には医師の診断を受けてください。
- 壁掛け設置されているスタンドから取り外す場合は、無線LANアクセスポイント（親機）の両端を持ち、手前に倒すように取り外してください。
- 壁掛けの際、装置取り付け時は“カチッ”と音がするまで確実に押し込んでください。
- 壁掛け時には落下すると危険ですので、大きな衝撃や振動などが加わる場所には設置しないでください。
- 壁掛け設置されている状態で、ケーブルの接続やディップスイッチの操作などを行う際には、落下すると危険ですので必ず本商品本体を手で支えながら行ってください。
- 商品が落下すると危険ですので、ベニヤ板などのやわらかい壁への壁掛け設置は避け、確実に固定できる場所に設置してください。また、衝撃や振動を加えないでください。
- アンテナを持って本商品を持ち上げたり移動したりしないでください。故障の原因となることがあります。
- 本商品は垂直面以外の壁や天井などには取り付けないでください。振動などで落下し、故障、けがの原因になります。
- 本商品は、横置きにはしないでください。通風孔がふさがれ、内部に熱がこもり、故障の原因となったり、通信特性が悪化する原因になります。
- 本商品を落とさないでください。落下によって故障の原因になったり、そのまま使用すると火災・感電の原因になることがあります。万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。

無線LAN端末（子機）を接続する場合

ここでは無線LAN端末（子機）を接続する場合の注意事項などについて説明しています。実際の無線LAN端末（子機）の接続や設定は、「つなぎかたガイド」を参照してください。

WL300NC（無線LANカード）で無線LAN接続する場合

WL300NC（無線LANカード）をパソコンに取り付けるときは、①ドライバのインストール→②無線LANの設定の順で設定を行っていきます。実際の手順は「つなぎかたガイド」を参照してください。
WL300NC（無線LANカード）を接続できるのはWindows Vista™およびWindows® XP/2000 Professionalのみです。Windows® Me/98、Macintoshではご利用になれません。
WL300NC（無線LANカード）は、CardBus準拠のPCカードスロットがあるパソコンに取り付けることができます。

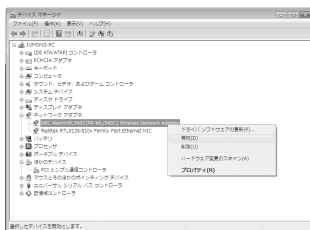
お願い

- WL300NC（無線LANカード）はパソコンからの給電のみで動作しますが、パソコンによっては、サスペンド機能などにより給電が停止した場合、通信を行う前にWL300NC（無線LANカード）を差し直す必要がある場合があります。あらかじめサスペンド機能を無効にしてご使用いただくことをお勧めします。
- ETHERNETインタフェースを搭載したパソコンの場合、LANカードおよびLANボード機能を停止させないとWL300NC（無線LANカード）のドライバが正しくインストールできない場合や、正しく通信できない場合があります。LANカードおよびLANボード機能を停止させてから、サテライトマネージャのらくらく無線スタートで設定を行ってください。（☛P45、46）
- 無線LAN内蔵パソコンにWL300NC（無線LANカード）を装着して使う場合は、必ず内蔵無線LANの［デバイスマネージャ］の［ネットワークアダプタ］にある内蔵無線アダプタを［無効］に設定してからご使用ください。
- サテライトマネージャのらくらく無線スタートを起動する前に誤って、WL300NC（無線LANカード）をパソコンに挿入して、ハードウェアウィザードが起動した場合は、［キャンセル］をクリックし、WL300NC（無線LANカード）を取り外してください。
- あとからWL300NC（無線LANカード）を追加で購入した場合は、本商品に添付のCD-ROMを使用してください。
- WL300NC（無線LANカード）と無線LANアクセスポイント（親機）との距離は、1m以上離してお使いください。無線LANアクセスポイント（親機）と近すぎると通信速度が低下する場合があります。

LAN カードまたは LAN ボード機能を停止させるには

ETHERNET インタフェースを搭載したノートパソコンの場合、LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させないと無線 LAN 端末（子機）が使用できない場合があります。以下の操作で LAN カードまたは LAN ボード機能を停止させてから、サテライトマネージャのらくらく無線スタートで設定を行ってください。以下の手順は例です。パソコンによって異なる場合があります。詳細はパソコンメーカーにお問い合わせください。

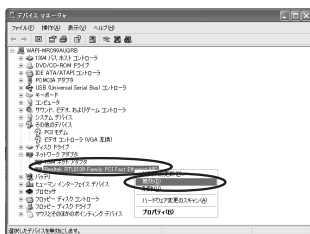
〈Windows Vista™の場合〉

① ［スタート］（Windows®のロゴボタン）―［コントロールパネル］をクリックする
② ［システムとメンテナンス］―［システム］をクリックする
③ タスク欄の［デバイスマネージャ］をクリックする
④ ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、［続行］をクリックする
⑤ ［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑥ 不要なネットワークアダプタを選択して右クリックし、［無効］を選択する

⑦ ［はい］をクリックする

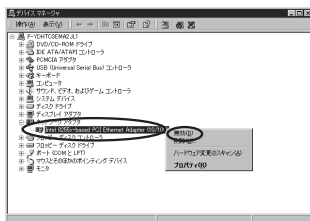
（次ページに続く）

LAN カードまたは LAN ボード機能を停止させるには

〈Windows® XP の場合〉

① ［スタート］—［コントロールパネル］をクリックする
② ［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする
③ ［システム］アイコンをクリックする
④ ［ハードウェア］タブをクリックする
⑤ ［デバイスマネージャ］をクリックする
⑥ ［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑦ 不要なネットワークアダプタを選択して右クリックし、［無効］を選択する

⑧ ［はい］をクリックする

〈Windows® 2000 Professional の場合〉

① ［スタート］—［設定］—［コントロールパネル］をクリックする
② ［システム］アイコンをダブルクリックする
③ ［ハードウェア］タブをクリックする
④ ［デバイスマネージャ］をクリックする
⑤ ［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑥ 不要なネットワークアダプタを選択して右クリックし、［無効］を選択する

⑦ ［はい］をクリックする

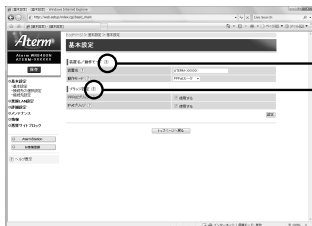
クイック設定Webで設定を行うには

無線LANアクセスポイント（親機）を接続する

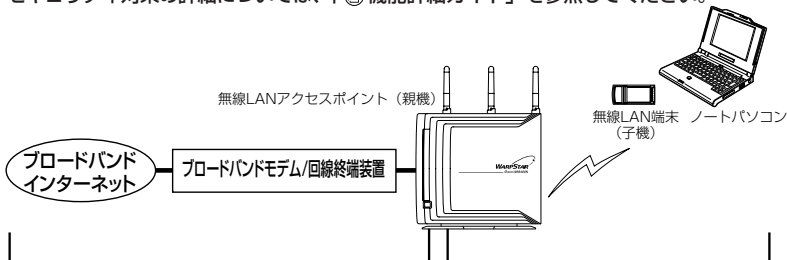
クイック設定Webで設定を行うには、あらかじめ無線LANアクセスポイント（親機）とパソコンとの通信ができる状態にしておく必要があります。

無線LAN端末（子機）から設定を行う場合は、「つなぎかたガイド」を参照して無線LANアクセスポイント（親機）との無線設定が完了してから設定してください。

ポップアップヘルプについて

クイック設定Webを開くと、各項目に ? のポップアップヘルプがあります。
このボタンをクリックすると、各設定項目の内容や、入力条件（文字数など）が表示されます。

セキュリティ対策をする

セキュリティ機能について

本商品には、ブロードバンド（ADSL／CATV／FTTH網）からの不正なアクセスを防ぐ「WAN回線側セキュリティ機能」と、無線ネットワーク内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されないための「無線LAN内ネットワークセキュリティ機能」があります。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。
セキュリティ対策の詳細については、「機能詳細ガイド」を参照してください。

WAN回線側セキュリティ機能

- IPパケット
  フィルタリング
- アドバンスドNAT
  (IPマスカレード／NAPT)
- 不正アクセス検出機能
- ダイナミックポート
  コントロール機能
- 悪質サイトブロック機能

無線LAN内ネットワークセキュリティ機能

- 暗号化※
- MACアドレスフィルタリング機能
- ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）

※WR8400N（親機）は、工場出荷時には、AESの暗号化が設定されます。
設定内容（初期値）は、本体底面の設定ラベルを参照してください。

セキュリティ対策を行うことの重要性について

- インターネットに接続すると、ホームページを閲覧したり、電子メールで情報をやりとりすることができ、とても便利です。しかし、同時に、お使いのパソコンはインターネットからの不正なアクセスの危険にさらされることになります。悪意のあるものから、パソコンやルータに不正にアクセスされることによって、大事なデータを盗まれたり、ブロードバンド回線を無断利用されたりすることも考えられます。特にインターネットに常時接続したり、サーバなどを公開したりする場合にはその危険性を考慮して、必要なセキュリティ対策を行う必要があります。
  本商品の機能を利用してセキュリティ対策を行ってください。
  また、ウィルス対策ソフトウェアの導入など、パソコン側のセキュリティ対策も合わせて行うことをお勧めします。
- 無線LAN端末（子機）による無線通信を行う場合は、無線LAN内のセキュリティを行うことをお勧めします。無線LAN内のセキュリティがない状態では、離れた場所から、お使いの無線ネットワークに入り込まれる危険性があります。
  無線ネットワーク内に入り込まれると、パソコンのデータに不正にアクセスされたり、あなたになりすましてブロードバンド回線を使用し、インターネット上で違法行為などを行われることがあります。

インターネット悪質サイトブロック機能を設定する

悪質サイトブロック機能は、ネットスター株式会社の提供する「インターネット悪質サイトブロックサービス」に対応する機能です。ネットスター社とライセンス契約を行い、パソコンなどのインターネット接続端末ごとに、ブロックレベル（小学生以下、中学生、高校生、大人）を設定することで、悪質なサイトや有害なサイトの表示をブロックし、お客様やお客様のご家族をこれらの危険なサイトから守ることができます。

※「インターネット悪質サイトブロックサービス」は、ルータ機能を利用している場合に有効です。ルータ機能を介さない以下のような端末では無効になりますのでご注意ください。

・無線 LAN アクセスポイントモードで利用するとき、接続しているすべての端末
・ PPPoE ブリッジ機能、IPv6 ブリッジ機能による通信を行っている端末

Web 設定で、[悪質サイトブロック] −[ライセンス管理] −[お手続き画面へ]をクリックすると、ネットスター社のライセンス申込 TOP ページが表示されます。必ず、このページからライセンス申込を行ってください。本商品のお客様向けに 60 日間のお試し期間が設けられております。

※「インターネット悪質サイトブロックサービス」は、ネットスター株式会社の提供する有償サービスです。本サービスをご利用になった結果に対して、当社は責任を負いかねます。

インターネット悪質サイトブロック機能の設定

●本商品に悪質サイトブロック機能を設定する
ライセンス契約の有無によらず、本機能を「使用する」に設定していないと、本サービスは利用できません。

1 **WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く**

無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例： http://192.168.0.1/

2 **ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする**

ユーザー名、管理者パスワードは、すべて半角小文字で入力してください。

3 **「悪質サイトブロック」の「悪質サイトブロック設定」画面で［使用する］にチェックを入れる**

（次ページに続く）

4 ［設定］をクリックする

5 ［保存］をクリックする

●ライセンスの申し込みをする

本サービスの利用にはライセンスの申し込みが必要です。以下の手順でライセンスの申し込みを行ってください。

1 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例： http://192.168.0.1/

2 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザー名、管理者パスワードは、すべて半角小文字で入力してください。

3 「悪質サイトブロック」の「ライセンス管理 」画面で、[お手続き画面へ] をクリックする

ネットスター社のライセンス申込ページ画面が表示されます。
画面にしたがって、設定を行ってください。

●ライセンス情報を確認する

ライセンス状態は、以下の手順によりいつでも確認することができます。ただし、ライセンス登録後、その情報が反映されるまで 10 分程度かかる場合があります。

1 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例： http://192.168.0.1/

2 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザー名、管理者パスワードは、すべて半角小文字で入力してください。

3 「悪質サイトブロック」の「ライセンス管理」画面で、[ライセンス情報確認]をクリックしてライセンス情報を確認する

※ライセンス情報が 「正規ライセンス有効」と「試用ライセンス有効」の場合に悪質サイトブロック機能が有効になります。
※48 時間の周期で自動的にライセンス情報を取得し、「正規ライセンス無効」または「試用ライセンス無効」の状態になると、悪質サイトブロックの機能が使用不可能となります。ライセンスの期限が切れた場合は、ライセンスの更新を行ってください。

● IP アドレスを登録する

本サービスを利用するには、利用する端末の IP アドレスと、その端末からのアクセスに適用するブロックレベルを、あらかじめ設定しておく必要があります。（設定していない端末からの悪質サイトへのアクセスをブロックすることはできません。）

1 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例： http://192.168.0.1/

2 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザー名、管理者パスワードは、すべて半角小文字で入力してください。

3 「悪質サイトブロック」の「ブロック対象管理」画面で[追加]をクリックする

※ブロック対象エントリ項目の削除方法
「ブロック対象管理」画面でエントリ一覧に表示されているエントリの中から、削除したいエントリの行末の［削除］をクリックすることで削除できます。

4 プロファイル名、IP アドレス、ブロックレベルを設定する

プロファイル名 ：任意の文字(半角 32 文字以内（“？”を除く）、全角 16 文字以内)を入力します。
IP アドレス ：端末の IP アドレスを入力します。
ブロックレベル ：小学生以下/中学生/高校生/大人から選択します。

5 [設定]をクリックする

6 本機能の対象になる機器が複数ある場合は、手順３～５を繰り返して設定する

7 [保存]をクリックする

お知らせ

●指定した IP アドレスが、DHCP によって別の端末に割り当てられてしまうことを防ぐため、「詳細設定」－「DHCP 固定割当設定」により、インターネット接続端末に固有の IP アドレスを割り当てておくことをお奨めします。設定方法は、機能詳細ガイドをご覧ください。

例外サイトの登録方法

本サービスでブロック対象となっていないサイトの表示を制限したり、逆に、意図せずブロックされたサイトをブロック対象から外すために、そのサイトのURLを例外サイトとして登録することが可能です。

1 WWWブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定Webのページを開く

無線LANアクセスポイント（親機）のIPアドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は192.168.0.1です。）
例： http://192.168.0.1/

2 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK]をクリックする

ユーザー名、管理者パスワードは、すべて半角小文字で入力してください。

3 「悪質サイトブロック」の「例外サイト設定」画面で、[追加]をクリックする

※設定した例外サイトの削除の方法
「例外サイト設定」画面で、エントリ一覧に表示されているエントリの中から、削除したいエントリの行末の［削除］をクリックすることで削除できます。

4 種別を選択し､例外サイトを入力する

種別　　　：［許可］または［禁止］を選択します。

例外サイト：URLを入力してください。（ホスト名：半角最大128文字（“?”を除く)、パス：半角最大256文字（“/”､“＊”を含む、“?”を除く）まで入力できます）

※URLの最後に“＊”を指定して、ワイルドカード指定が可能です。

（例）http://121ware.com/aterm/

ホスト名　　パス（/含む）

※ワイルドカード
ファイル名やディレクトリ名を指定するときに使う、「任意の文字」を意味する特殊文字です。任意の長さの任意の文字を意味します。

5 [設定]をクリックする

6 本機能の対象になるサイトが複数ある場合は、手順3～5を繰り返して設定する

7 [保存]をクリックする

ブロック画面の一時解除方法

本サービスでブロック対象のサイトにアクセスすると、ブロック画面（アクセス制限画面）が表示されます。

[アクセス制限一時解除]をクリックして、クイック設定Web用の管理者IDとパスワードを入力すると、一時的にブロックを解除して、ブロック対象のサイトにアクセスすることができます。

※一時解除される時間は30分です。

※画像のみが規制されることがあります。その場合は画像に×印が表示されます。画像の一時解除はできません。

ネットスター社　お問い合わせ先

「インターネット悪質サイトブロックサービス」についての詳細は、下記URLをご覧ください。

http://gbb.netstar.jp/aterm/

※E-mailのみの受付となりますので、ご了承ください。
（土日祝祭日を除く10 ： 00 ～ 17 ： 00）

「インターネット悪質サイトブロックサービス」設定前のお問い合わせについて
- これからこのサービスの利用をお考えのお客様のご相談
- 本サービスの申し込み方法について
- 本サービスの仕組みやフィルタリング機能について
- 本サービスの提供元ネットスター株式会社について

連絡先： sales_bb@netstar-inc.com

「インターネット悪質サイトブロックサービス」設定後のお問い合わせについて

連絡先： shop_bb@netstar-inc.com

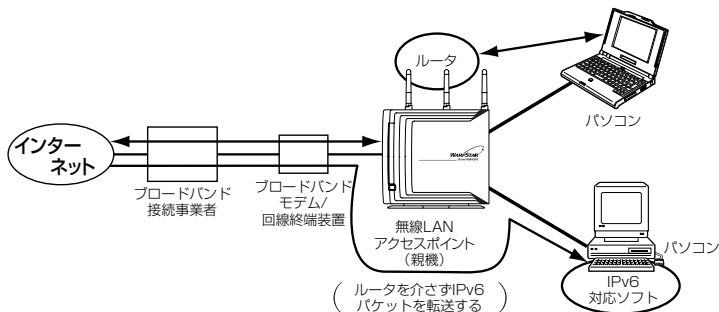
※装置に関する機能や取り扱いなどでご不明な点は、裏表紙に記載のAterm（エーターム）インフォメーションセンターまでお問い合わせください。

規制ポリシー

大カテゴリ	サブカテゴリ	小学生以下	中学生	高校生	大人
不法	違法と思われる行為	×	×	×	×
	違法と思われる薬物	×	×	×	×
	不適切な薬物利用	×	×	×	×
主張	軍事・テロ・過激派	×	×	×	×
	武器・兵器	×	×	×	×
	誹謗・中傷	×	×	×	×
	自殺・家出	×	×	×	×
	主張一般	×	×	×	×
アダルト	性行為	×	×	×	×
	ヌード画像	×	×	×	×
	性風俗	×	×	×	×
	アダルト検索·リンク集	×	×	×	×
セキュリティ	ハッキング	×	×	×	×
	不正コード配布	×	×	×	×
	公開プロキシ	×	×	×	×
出会い	出会い・異性紹介	×	×	×	×
	結婚紹介	×	×	×	○
金融	金融レート・ 投資アドバイス	○	○	○	○
	投資商品の購入	×	×	×	○
	保険商品の申込	×	×	○	○
	金融商品・サービス	○	○	○	○
ギャンブル	ギャンブル一般	×	×	×	○
	宝くじ·スポーツくじ	×	×	×	○
ゲーム	対戦型ゲーム	×	×	○	○
	ゲーム一般	×	×	○	○
ショッピング	オークション	×	×	×	○
	通信販売一般	×	×	×	○
	不動産販売・賃貸	○	○	○	○
	IT 関連ショッピング	×	×	×	○
コミュニケーション	ウェブチャット	×	○	○	○
	メッセンジャー	○	○	○	○
	ウェブメール	○	○	○	○
	メールマガジン· ML	×	○	○	○
	掲示板	×	×	×	○
	IT 掲示板	×	○	○	○

大カテゴリ	サブカテゴリ	小学生以下	中学生	高校生	大人
ダウンロード	ダウンロード	×	○	○	○
	プログラムダウンロード	×	○	○	○
	ストレージサービス	×	○	○	○
職探し	転職・就職	○	○	○	○
	キャリアアップ	○	○	○	○
	サイドビジネス	○	○	○	○
グロテスク	グロテスク	×	×	×	×
話題	イベント	○	○	○	○
	話題	○	○	○	○
成人嗜好	娯楽誌	×	×	×	○
	喫煙	×	×	×	○
	飲酒	×	×	×	○
	アルコール製品	×	×	×	○
	水着･下着･フェチ画像	×	×	×	○
	文章による性的表現	×	×	×	○
	コスプレ	×	×	×	○
オカルト	オカルト	×	×	×	×
ライフスタイル	同性愛	×	×	×	○
スポーツ	プロスポーツ	○	○	○	○
	スポーツ一般	○	○	○	○
	レジャー	○	○	○	○
旅行	観光情報・旅行商品	○	○	○	○
	公的機関による観光情報	○	○	○	○
	公共交通	○	○	○	○
	宿泊施設	○	○	○	○
趣味	音楽	○	○	○	○
	占い	○	○	○	○
	タレント・芸能人	○	○	○	○
	食事・グルメ	○	○	○	○
	娯楽一般	○	○	○	○
宗教	伝統的な宗教	×	○	○	○
	宗教一般	×	○	○	○
政治活動・政党	政治活動・政党	×	○	○	○
広告	広告・バナー	×	×	○	○
	懸賞	×	×	○	○
ニュース	ニュース一覧	○	○	○	○

IPv6 ブリッジ機能

IPv6（Internet Protocol Version 6）プロトコルの利用が必要なサービスをご契約の場合、本商品は IPv6 ブリッジ機能の初期値が「使用する」になっていますので、パソコン側の設定をすることでご利用になれます。IPv6 ブリッジ機能を未使用で、セキュリティの低下を防ぎたい場合には、「機能詳細ガイド」を参照して設定変更してください。

ブロードバンドテレビサービスをご利用になりたい場合

IPv6 マルチキャストストリーミングサービスを無線 LAN ポートでご利用になる場合には、マルチキャスト帯域拡張機能を使用して、マルチキャストの速度を変更してご利用ください。

例：6Mbps のテレビサービスをご利用の場合は、6Mbps 以上の設定を行ってください。

- テレビサービスをご利用になる場合は、標準（5GHz）（802.11a）でのご利用を推奨します。（ご利用環境によっては標準（2.4GHz）で視聴できない場合があります）
- 無線 LAN 端末（子機）は、プライマリ SSID でご利用ください。その場合セカンダリ SSID の IPv6 マルチキャストを「ストリーミングのみ転送しない」に設定してください。

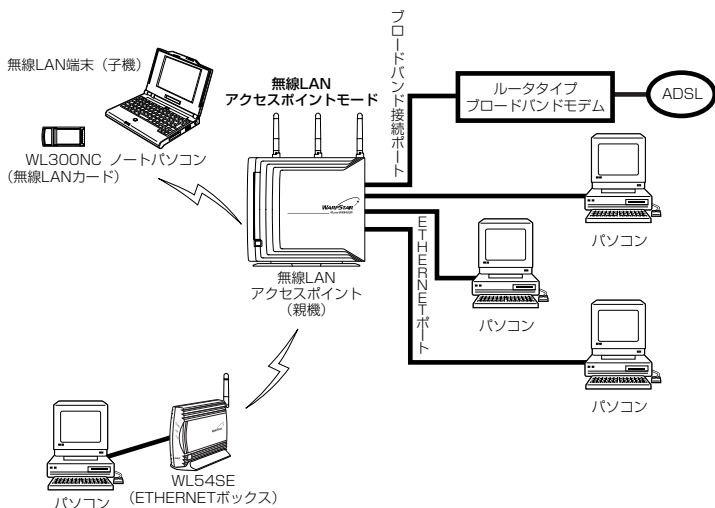
お知らせ

- ブロードバンド映像配信の一部のサービスは、無線で利用できない場合があります。
  その場合には、セットトップボックスは本商品に接続し、有線 LAN 接続でのご利用を推奨します。

お願い

- パソコン側の設定方法は、お使いのプロバイダのサポート窓口でお問い合わせください。
- 「IPv6 ブリッジ機能」では、外部からのアクセスが可能になり、セキュリティが低下します。セキュリティ対策ソフトなどをお使いになることをお勧めします。

無線LANアクセスポイントとして使う（ルータ機能を停止する）

本商品を無線LANアクセスポイントモードにすると、ルータ機能が停止します。
本モード設定にして既存のLANや、ルータタイプのブロードバンドモデムに接続することで、LANケーブル接続のパソコンや、無線接続のパソコンを増設できます。
※本商品を無線LANアクセスポイントモードとしてご利用の場合は、本商品のACTIVEランプが橙点灯します。

お知らせ

●ルータタイプのブロードバンドモデムと接続する際、次のような場合には本商品のルータ機能を止めて無線LANアクセスポイントモードをご利用ください。
・本商品の持つルータ機能を使用しないとき
・ルータ機能を持つ装置を多重した接続になり、回線が持つスループットを十分に引き出すことができないとき

無線LANアクセスポイントモード設定

無線LANアクセスポイントモードの設定は、ディップスイッチか、らくらくWebウィザードで行います。

●らくらくWebウィザードで設定する場合

→無線LANアクセスポイント（親機）の設定値を変更する予定がある場合は、この設定方法をお勧めします。

●ディップスイッチで設定する場合

→初期値の設定のままで無線LANアクセスポイントモードをご利用になりたい場合は、この設定方法をお勧めします。

無線LANアクセスポイントモードに設定(ルータ機能を停止)した場合のご注意

●無線LANアクセスポイントモードで、「らくらく無線スタート」を行う場合は、必ず、ブロードバンドモデムなどDHCPサーバ機能を持った機器を本商品に接続した状態で行ってください。

●無線LANアクセスポイントモードで、クイック設定Webを開く場合は、「http://web.setup/」およびデスクトップの［クイック設定Web］アイコンから開くことはできません。

→無線LANアクセスポイントモードでのクイック設定Webの開き方は下記の通りです。

① DHCPサーバ機能を持った機器が本商品に接続されている場合
WWW ブラウザのアドレスに、「http://＊.＊.＊.211/」と入力して開きます。
例：光プレミアムでは　http://192.168.24.211/

② DHCPサーバ機能を持った機器が本商品に接続されていない場合
※パソコンのIP アドレスを、192.168.0.100　などに固定してから、WWWブラウザのアドレスに、「http://192.168.0.211/」と入力して開きます。
①で設定画面を開けない場合は、DHCPサーバ機能を持った機器を取り外し、本商品を再起動したのち、②の方法で設定画面を開いてください。

らくらくWebウィザードで設定する

※らくらくWebウィザードは、無線LANアクセスポイント（親機）をはじめて設定する場合のみ表示されます。無線LANアクセスポイント（親機）をすでにルータとしてお使いの場合は一度初期化してから設定を行ってください。（☛P92）
（初期化を行うと本商品のすべての設定が工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。）

1 **パソコンを起動する**

2 **WWWブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定Webのページを開く**

無線LANアクセスポイント（親機）のIPアドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は192.168.0.1です。）

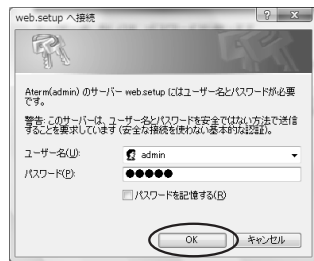
3 **管理者パスワードの初期設定を行う**

画面に従ってパスワードを設定してください。
この画面は、管理者パスワードが未設定のときに開きます。

● 管理者パスワードは、無線LANアクセスポイント（親機）を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。
忘れた場合は設定画面を開くことができず、初期化してすべての設定を最初からやり直しになります。

管理者パスワードメモ欄	

4 **［設定］をクリックする**

5 **次の画面が表示されたらユーザー名に「admin」、パスワードに手順3で設定した管理者パスワードを入力し［OK］をクリックする**

（次ページに続く）

6 「動作モード選択」で「無線 LAN アクセスポイントモード」を選択し、［次へ］をクリックする

7 「IP アドレス／ネットマスク」の「IP アドレス自動補正機能」の［使用する］にチェックを入れる

※フレッツ・光プレミアムに接続する際の設定例は、画面の〈参考〉をご確認ください。

8 入力が完了したら、［設定］をクリックする

9 クイック設定 Web のページを閉じる

※あとからクイック設定 Web のページを開くには、WWW ブラウザのアドレス欄に設定した IP アドレスを入力します。
（例）http://192.168.0.211/
（http://web.setup/やデスクトップの「クイック設定 Web」アイコンからは開けなくなりますのでご注意ください。）

「ルータタイプの ADSL モデムやハブと接続する」（☛P62）に進みます。

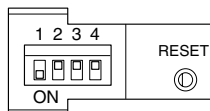
ディップスイッチで設定する

無線LANアクセスポイント（親機）のディップスイッチを使って設定します。ディップスイッチは、底面にあります。

1 無線LANアクセスポイント（親機）の電源を切る

2 スタンドを外す

3 ディップスイッチの1を「ON」にする

つまようじなど先の細いものでディップスイッチを「ON」側に倒してください。

4 無線LANアクセスポイント（親機）の電源を入れる

POWERランプが緑点灯し、ACTIVEランプが橙点灯すると、設定が完了します。

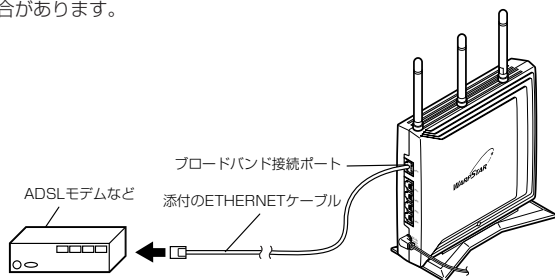
5 スタンドを取り付ける

「ルータタイプのADSLモデムやハブと接続する」（☛P62）に進みます。

ルータタイプのADSLモデムやハブと接続する

必要があれば無線LANアクセスポイント（親機）とルータタイプのADSLモデムまたはハブを接続します。

1 無線LANアクセスポイント（親機）の背面にあるブロードバンド接続ポートとルータタイプのADSLモデムなどをETHERNETケーブルで接続する

ブロードバンド接続ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。
ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。

2 ADSLモデムなどの電源を入れる

3 無線LANアクセスポイント（親機）の前面のACTIVEランプが橙点灯ことを確認する

ACTIVEランプが橙点灯すれば、ADSLモデムは正しく接続されています。
※IPアドレスは、自動的に本商品の属しているネットワークに追従するように補正されます。補正後のIPアドレスは、ネットワークのアドレスが「192.168.111.xxx」の場合、「192.168.111.211」となります。
※サブネットマスクは補正されません。（255.255.255.0固定）

らくらくWebウィザードで設定した場合、無線の設定を変更するときは、クイック設定Webの「無線LAN設定」－「無線LAN設定」でネットワーク名(SSID)、暗号化などを変更します。（機能詳細ガイド）

ファームウェアやユーティリティをバージョンアップする

各種ユーティリティやファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、WR8400N（親機）に新しい機能を追加したり、場合によっては、WR8400N（親機）の操作を改善します。
［用語］ファームウェア：本商品を動かすソフトウェアのことです。

ファームウェアやユーティリティをバージョンアップする

AtermStation からダウンロードした最新のファームウェアやユーティリティにバージョンアップします。

お願い

- ファームウェアのバージョンアップ中（約 1 分間）は絶対に WR8400N（親機）の電源を切らないでください。
- ファームウェアをバージョンアップするときは、そのあとでユーティリティも最新のものにバージョンアップしてください。
- お使いの本商品用以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと、本商品が動作しなくなります。
- バージョンアップを開始する前に、パソコンのすべてのアプリケーションと、通知領域（タスクトレイ）などに常駐しているアプリケーションを終了させてください。

■ファームウェアをバージョンアップする

●ファームウェアのワンタッチバージョンアップ

インターネットに接続された状態で、AtermStation に新しいファームウェアが更新された場合に、クイック設定 Web のトップ画面に［ファームウェア更新］のボタンが表示されます。
このボタンをクリックすることで、簡単にバージョンアップができます。
※本機能は、ルータ機能を利用している場合のみご利用になれます。
※本機能は、常に本商品の電源が ON になっており、かつインターネットに接続されている必要があります。
　また、サーバ側の負荷分散のために更新情報の検出が数週間遅れる場合があります。
本サービスは、予告なく変更あるいは終了する場合があります。
詳しくは、AtermStation（http://121ware.com/aterm/）をご覧ください。

お知らせ

- ファームウェアのバージョンアップ情報がある場合は、インターネット上のホームページを開く際に、バージョンアップ情報が自動的に告知されますので、画面の指示に従って、本商品のバージョンアップを行うことができます。（ただし、自動告知画面が表示されるのは、開こうとするホームページのＵＲＬがホスト名の場合のみです。
　表示される例　：http://www.biglobe.ne.jp/
　表示されない例：http://www.biglobe.ne.jp/xxx_xxx

●自動更新(オンラインバージョンアップ)

クイック設定Webからファームウェアのバージョンアップを行うことができます。本商品からインターネットに接続できる必要があります。

※本機能は、ルータ機能を利用している場合のみご利用になれます。

1 **WWWブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定Webのページを開く**

無線LANアクセスポイント（親機）のIPアドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例： http://192.168.0.1/

2 **ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK]をクリックする**

3 **「メンテナンス」の［ファームウェア更新］を選択する**

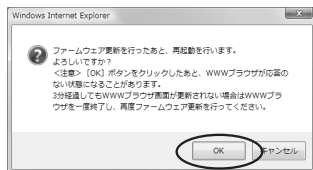
4 **［自動更新（オンラインバージョンアップ)］を選択する**

5 **[更新]をクリックする**

6 **次の画面が表示されるので、電源コンセントを取り外さずそのまましばらく待つ**

7 **次の画面で、最新のファームウェアバージョンの数字が新しい場合は、[最新バージョンに更新]をクリックする**

「現在のバージョン」と「最新のバージョン」が同じ場合はここで終了です。［閉じる］をクリックして、クイック設定Webを閉じます。

8 [OK]をクリックする

9 しばらくすると、クイック設定Web画面に「ファームウェア更新中です。1分ほどお待ちください」と表示される

※バージョンアップの途中で電源を切らないでください。

10 [OK]をクリックする

■ユーティリティとファームウェアをダウンロードし、バージョンアップする

ホームページAtermStationから、ユーティリティやファームウェアをダウンロードしてバージョンアップを行うことができます。
ダウンロードしたファームウェアでのバージョンアップ方法は「機能詳細ガイド」を参照してください。

1 AtermStation（http:// 121ware.com/aterm/）にアクセスする

2 ［ダウンロード］－［バージョンアップ］にて、お使いの機種を選択する

3 内容をよく読んでご利用になるファームウェアやユーティリティをダウンロードする

4 ダウンロードが終了したら、インターネットの接続を切断する

5 ユーティリティのバージョンアップの場合は、ダウンロードしたファイルをダブルクリックする

インストールが始まります。
詳細は、各ユーティリティのセットアップのページやAtermStationの説明をお読みください。

トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。
本書の他に、ホームページに掲載している電子マニュアル「機能詳細ガイド」の「お困りのときには」で、さまざまな症状と対策方法を記載しております。本章と合わせてご覧ください。
該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、無線LANアクセスポイント（親機）を初期化し（☛P92）、初めから設定し直してみてください。初期化を行うと本商品のすべての設定が工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。初期化を行う前に、現在の設定内容を保存しておくことができます。（機能詳細ガイド）

- 設置に関するトラブル（☛ 下記）
- ユーティリティに関するトラブル（☛P80）
- ご利用開始後のトラブル（☛P88）
- 添付のCD-ROMに関するトラブル（☛P91）

設置に関するトラブル

どこまで設置、設定できているのか現在の症状をご確認のうえ、その原因と対策をご覧ください。

無線LANアクセスポイント（親機）前面のPOWERランプは点灯していますか？ →いいえ（a参照☛P68）

↓はい

無線LANアクセスポイント（親機）前面のWANランプは緑点灯していますか？ →いいえ（b参照☛P68）

↓はい

らくらくネットスタートで無線LANアクセスポイント（親機）の設定が行えますか？ →いいえ（c参照☛P69）

↓はい

無線LAN通信はできますか？

無線LAN端末（子機）からの接続の場合	無線LANアクセスポイント（親機）と正しく接続されていますか？

→いいえ（d参照☛P70）

↓はい

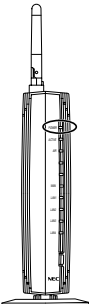
パソコンにIPアドレスが設定されていますか？
（確認方法は、P72を参照してください） →いいえ（e参照☛P72）

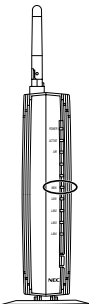
↓はい

無線LANアクセスポイント（親機）の設定が行えますか？

WWWブラウザ（クイック設定Web）で無線LANアクセスポイント（親機）の設定画面が表示できますか？ →いいえ（f参照☛P73）

↓はい

<PPPoEモードの場合>
設定後、無線LANアクセスポイント(親機)前面のACTIVEランプが点灯していますか？ →いいえ（g参照☛P74）

<ローカルルータモードの場合>
- 設定後、無線LANアクセスポイント(親機)前面のACTIVEランプが点灯していますか？
- WAN側IPアドレスが正しく表示されていますか？
- クイック設定Webの「情報」－「現在の状態」の「WAN側状態」にIPアドレスが表示されていますか？

→いいえ（h参照☛P75）

↓はい

インターネットに接続できましたか？ →いいえ（i参照☛P76）

a.無線LANアクセスポイント（親機）前面のPOWERランプが点灯しない

症　状	原因と対策
POWERランプが点灯しない	電源が入っていません。 ●ACアダプタ（電源プラグ）が外れている →ACアダプタ（電源プラグ）を電源コンセントに差し込んでください。 ●ACアダプタ（電源プラグ）がパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている →電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。パソコンの電源が切れると無線LANアクセスポイント（親機）に供給されている電源も切れてしまいます。 ●ACアダプタ（電源プラグ）が破損していないか確認してください。破損している場合はすぐにACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから外して別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご相談ください。 ●無線LANアクセスポイント（親機）の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。

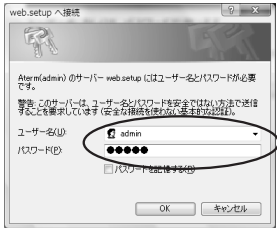
b.無線LANアクセスポイント（親機）前面のWANランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
WANランプが緑点灯しない 	●ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源が入っていない →ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源を入れて、正しく回線のLINKが確立できていることを確認してください。 ●無線LANアクセスポイント（親機）のブロードバンド接続ポートがブロードバンドモデムまたは回線終端装置にETHERNETケーブルで正しく接続されているか確認してください。 ブロードバンド接続ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。 ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。 ●ETHERNETケーブルの規格が正しいか確認してください。 接続に使用しているケーブルが「ETHERNETケーブル（カテゴリー5）」であることを確認してください。(☛P97)

症　状	原因と対策
WAN ランプが緑点灯しない （続き）	●無線 LAN アクセスポイント（親機）のブロードバンド接続ポートと無線 LAN アクセスポイント（親機）の LAN1 を添付の ETHERNET ケーブルで接続してみる。 前面の WAN ランプが点灯する場合 無線 LAN アクセスポイント（親機）は、問題ありません。 ブロードバンドモデム／回線終端装置が故障している可能性があります。 点灯しない場合 無線 LAN アクセスポイント（親機）を初期化してみてください。 それでも解決しない場合は無線 LAN アクセスポイント（親機）の故障の可能性があります。別紙に示す修理受け付け先または、お問い合わせ先へお問い合わせください。

c.らくらくネットスタートが失敗する

症　状	原因と対策
POWER ランプ、ACTIVE ランプ、AIR ランプが赤点滅している	● WAN 側回線の判別に失敗しています。 無線 LAN アクセスポイント（親機）から AC アダプタを抜き、10 秒以上たってから、再度無線 LAN アクセスポイント（親機）に AC アダプタを接続します。 つなぎかたガイドの⑤「親機を手動で設定しよう（インターネット接続のための設定）」にしたがって設定してください。
利用回線に不適切なモードが選択されている	●無線 LAN アクセスポイント（親機）底面の RESET スイッチによる初期化（工場出荷状態に戻す）をしてください。（☛P93）つなぎかたガイドの⑤「親機を手動で設定しよう（インターネット接続のための設定）」にしたがって設定してください。

d.無線 LAN 通信ができない

症　状	原因と対策
サテライトマネージャの通信状態が範囲外または使用不可になっている	●WL300NC（無線 LAN カード）のドライバが正しくインストールされていない場合があります。 次の手順でいったんドライバとユーティリティ（Windows® XP/2000 Professional の場合はドライバ）を削除してから、もう一度ドライバとユーティリティ（Windows® XP/2000 Professional の場合はドライバ）をインストールしてください。 ①［スタート］－［すべてのプログラム］－［ドライバとユーティリティのアンインストール］（Windows® XP/2000 Professional の場合は［ドライバのアンインストール］）をクリックする ②画面の指示に従って、アンインストールを行う ③WL300NC（無線 LAN カード）を接続する ●暗号化キーの設定が無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）とで一致しているかを確認してください。（WWW 機能詳細ガイド） ●お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり通信が正常に行えない場合があります。 →ファイアウォールなどの動きによって本商品との通信に必要なポートが止められてしまっている可能性があります。 その場合には、次の手順で設定を確認してください。 ①ファイアウォールソフト側で本商品との通信に必要なポートをあける （アドレス：192.168.0.＊、TCP ポート番号：23/53/75/80、UDP ポート番号：69/161） ②①で改善しない場合は、ファイアウォールソフトを停止またはアンインストールする ●WL300NC（無線 LAN カード）から接続している場合は、「サテライトマネージャに関する問題」（☛P81）も参照してください。

症　状	原因と対策
無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）間の電波状態が悪い	●電波の届く範囲まで無線LAN端末（子機）を移動したり、無線LANアクセスポイント（親機）や無線LAN端末（子機）の向きをかえたりして電波状態を確認してください。
Windows Vista™およびWindows® XPのワイヤレスネットワークの設定で、通知領域に「ワイヤレスネットワーク接続」のバルーンが表示されない	●バルーンは一度表示されると消えてしまう場合があります。その場合は、ワイヤレスネットワーク接続のアイコンを右クリックして［利用できるワイヤレスネットワークの表示］をクリックすると、設定を行うことができます。 ●WL300NC（無線LANカード）のドライバが正しくインストールされていない場合があります。 次の手順でいったんドライバとユーティリティ（Windows® XP/2000 Professionalの場合はドライバ）を削除してから、もう一度ドライバとユーティリティ（Windows® XP/2000 Professionalの場合はドライバ）をインストールしてください。 ①［スタート］－［すべてのプログラム］－［ドライバとユーティリティのアンインストール］（Windows® XP/2000 Professionalの場合は［ドライバのアンインストール］）をクリックする ②画面の指示に従って、アンインストールを行う ③WL300NC（無線LANカード）を接続する
セカンダリSSIDが見つからない	● IEEE802.11bに対応している子機によっては、セカンダリSSIDをサーチできない場合があります。この場合、SSIDを直接設定することにより、接続可能となります。 例）初期値の場合 プライマリSSID ： WARPSTAR-xxxxxx セカンダリSSID ： WARPSTAR-xxxxxx-W

e.パソコンに IP アドレスが設定されていない

症　状	原因と対策
パソコンの IP アドレスが「192.168.0.xxx」に設定されていない	●パソコンの設定で「IP アドレスを自動取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。 パソコンの IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも無線 LAN アクセスポイント（親機）の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。 a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる 起動後、b の手順で再度パソコンのアドレスを確認する b. 次の手順で IP アドレスを取り直す ＜ Windows Vista™および Windows® XP の場合＞ ①［スタート］（Windows® のロゴボタン）（Windows® XP の場合は［スタート］）－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックする ②「ipconfig /renew」と入力して、［Enter］キーを押す ③IP アドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認する ＜ Windows® 2000 Professional の場合＞ ①［スタート］－［プログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックする ②「ipconfig /renew」と入力して［Enter］キーを押す ③IP アドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認する ※らくらくネットスタートで、ローカルルータモードを認識した場合、本商品が接続されているネットワークに応じて LAN 側の IP アドレスを変更します。 例）WAN 側ネットワークが 192.168.0.xxx の場合、LAN 側 IP アドレスを自動的に、192.168.1.1/24 に設定します。 サブネットマスクは補正されません。（255.255.255.0 固定）

f.WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定画面が表示されない（クイック設定 Web が起動しない）

症　状	原因と対策
WWW ブラウザ画面のアドレスに「http://web.setup/」と入力してもクイック設定 Web が表示されない	●プロキシの設定をしていませんか →プロキシの設定をしている場合、受付が拒否されます。 Internet Explorer の場合以下の設定を行ってください。 ①［ツール］－［インターネットオプション］－［接続］－［LAN の設定］の順にクリックする ②［LAN にプロキシサーバーを使用する］の［詳細設定］をクリックして、例外に「web.setup」を入れる ●代わりに IP アドレスを入れても表示できます。無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスが工場出荷時の場合は「http://192.168.0.1」です。 IP アドレスを変更している場合は、変更した値を入力してください。 ●無線 LAN アクセスポイントモードに設定されている場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレス（192.168.0.211）（初期値）を入力してください。（☛P58） ●お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。（☛P32）
WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）にアクセスすると、ユーザー名と管理者パスワードを要求される	●WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）にアクセスすると、ユーザー名と管理者パスワードを要求されます。 →ユーザー名には、「admin」を入力してください。パスワードには、WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）に一番最初にアクセスした際に、登録したパスワードを入力してください。
無線 LAN アクセスポイント（親機）のクイック設定 Web が開かない	●JavaScript® が無効に設定されている →WWW ブラウザの設定で JavaScript® を有効に設定してください。（☛P34） ●IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してみてください。（☛P72）

g.PPPoE モードで無線 LAN アクセスポイント（親機）前面の ACTIVE ランプが点灯しない

症　状	原因と対策
ACTIVE ランプが点灯しない	●パソコンから WWW ブラウザなどでインターネットにアクセスしてください。 PPPoE モードの場合、インターネットへ通信が開始された時点で ACTIVE ランプが点滅し、しばらくして点灯に変わります。
ACTIVE ランプが速い点滅をしている	●ブロードバンドモデム／回線終端装置の WAN 側が接続されていることを確認してください。ADSL モデムをご使用の場合、ADSL リンクが確立していることを確認してください。 NEC 製の ADSL モデムをご使用の場合はモデム前面の LINE ランプまたは ADSL ランプが点灯します。LINE ランプまたは ADSL ランプが点滅している場合は ADSL モデムの取扱説明書を参照して対処してください。 対処後、パソコンから WWW ブラウザなどでインターネットにアクセスしてください。 PPPoE モードの場合、インターネットへ通信が開始された時点で ACTIVE ランプが点滅し、しばらくして点灯に変わります。
ACTIVE ランプが遅い点滅、速い点滅を繰り返している	●無線 LAN アクセスポイント（親機）に登録した接続ユーザー名、接続パスワードとプロバイダなどから送られてくる接続ユーザー名、接続パスワードが正しいことを確認してください。 接続ユーザー名、接続パスワードについてはご契約のプロバイダへお問い合わせください。 ●接続ユーザー名、接続パスワードが間違っています。 一般的に下記が区別されますのでご注意ください。 接続ユーザー名（ログイン名）：半角、全角 接続パスワード：半角、全角、大文字、小文字 接続ユーザー名@xxxx.ne.jp と入力するのが一般的です。 ●接続する環境によっては、正常接続時に時間がかかる場合があります。（数分程度）

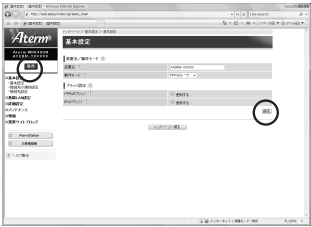
h.WAN 側 IP アドレスが正しく表示されない

症　状	原因と対策
ACTIVE ランプが点灯しない （クイック設定 Web の状態表示で WAN 側 IP アドレスが表示されない）	●ブロードバンドモデム／回線終端装置が WAN 側に接続されていることを確認してください。 ADSL モデムをご使用の場合、ADSL リンクが確立していることを確認してください。 ●ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源が入っているか確認してください。 ●接続事業者から指定されたIP アドレス情報などが正しく設定されているか確認してください。 らくらく Web ウィザード クイック設定 Web の「基本設定」－「接続先設定」(機能詳細ガイド) ●ブロードバンドモデム／回線終端装置の設定が合っているか確認してください。動作モードが PPPoE ブリッジモードの場合は本商品の動作モードは PPPoE モードでご使用ください。 ●他のブロードバンドルータやパソコンに接続していたブロードバンドモデムを無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続し直して通信しようとしている場合、ブロードバンドモデムの機種によっては、過去に接続したルータやパソコンの MAC アドレスと無線 LAN アクセスポイント（親機）の MAC アドレスが一致しないと通信できない場合があります。この場合は、ブロードバンドモデムの電源をいったん切って、20 ～ 30 分後に電源を入れ直すことで回避できる場合があります。 ●無線 LAN アクセスポイント（親機）WAN 側の IP アドレスが正しく取得できないことがありますので、クイック設定 Web の［情報］－［現在の状態］で［IP 解放］をクリックしてから［IP 取得］をクリックして IP アドレスを更新してください。 ●CATV 接続事業者によってはドメイン名やホスト名を本商品に入力しないと接続できない場合があります。 接続事業者に確認してクイック設定 Web の「基本設定」－「接続先設定」画面の［高度な設定を表示］をクリックしてからドメイン名やホスト名を入力してください。 ●CATV 接続事業者によってはゲートウェイやネームサーバを本商品に入力しないと接続できない場合があります。 接続事業者に確認してクイック設定 Web の「基本設定」－「接続先設定」からゲートウェイやネームサーバを入力してください。 ●CATV 接続事業者によっては本商品の MAC アドレスを申請する必要があります。 無線 LAN アクセスポイント（親機）の WAN 側の MAC アドレスを申請してください。 ●クイック設定 Web の「基本設定」－「接続先設定」画面の［高度な設定を表示］をクリックしてから「IP アドレスの割り当て競合検出」のチェックを外してみてください。

i.インターネットに接続できない

● ADSL/FTTH 接続に関するトラブル

症　状	原因と対策
ダイヤルアップ接続のウィンドウが開いてくる	●WWW ブラウザやメールソフトの設定が、LAN 接続の設定になっていない。 →LAN 接続の設定になっているかどうかを確認してください。（☛P32）
ルータタイプ ADSL モデムに接続している	●WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続できません。 →クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側状態」の「IP アドレス」を確認してください。 IP アドレスが表示されていない場合は、［IP 取得］を選択し、IP アドレスが正しく表示されていることをご確認ください。 ［IP 取得］でも IP アドレスが表示されない場合は、ADSL モデムがエラー表示していないか、または無線 LAN アクセスポイント（親機）前面の WAN ランプが緑点灯しているか確認してください。 ●ルータタイプ ADSL モデムの接続設定ができていない。 ADSL モデムが無線 LAN アクセスポイント（親機）と同じ IP アドレス 192.168.0.1 になっている可能性があります。 →次の手順で、IP アドレスが同じであることを確認したあとで、LAN 側の IP アドレスを変更します。 ① IP アドレスを確認する WAN 側：クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側状態」の「IP アドレス」が空欄になっている ② IP アドレスを変更する クイック設定 Web の「詳細設定」の「LAN 側設定」で「IP アドレス」を"192.168.1.1"など左から 3 つ目を変更して、［設定］をクリックする ③［保存］をクリックする ●無線 LAN アクセスポイント（親機）を無線 LAN アクセスポイントモードに設定して接続できるか確認してください。（☛P57） これでも ADSL 接続ができない場合は、ADSL モデムのサポート窓口に ADSL モデムの設定をお問い合わせください。

症　状	原因と対策
PPPoE 接続できない	●ユーザー ID とパスワードが間違っている → ADSL インターネット接続のユーザー ID は、「xxxxxxx@biglobe.ne.jp」のように @ 以下のプロバイダのアドレスまですべて入力するのが一般的です。プロバイダからのユーザー ID とパスワードを再確認して正しく設定してください。 ●使用する無線 LAN アクセスポイント（親機）の動作モードは正しいですか。 →ルータタイプの ADSL モデムに接続して使用する場合、PPPoE モードでは接続できません。あらかじめ ADSL モデムのタイプを確認してください。 ●パソコンに、ADSL モデムに添付されていた PPPoE 接続専用ソフトを入れたまま、それを使用していませんか。または、Windows Vista™/Windows® XP の PPPoE 機能を使用していませんか。 → PPPoE の外付けブロードバンドモデムを使用するとき、ブロードバンドモデムに付属のユーティリティでは、パソコンを同時に 1 台しかインターネットに接続できません。複数台のパソコンを接続する場合はブロードバンドモデムに付属のユーティリティは使用しないでください。インターネット接続の設定は本商品のらくらく Web ウィザードまたはクイック設定 Web で設定をしてください。 ●フレッツ・ ADSL 接続後、電源の ON/OFF などで、異常終了した場合、無線 LAN アクセスポイント（親機）の再起動において、一定時間（最大で 5 分間程度）接続できない場合があります。一定時間経過後再接続してください。
PPPoE 接続に成功してもホームページが開けない	●IP アドレス、DNS ネームサーバアドレスが間違っている。 →自動取得できないプロバイダの場合、プロバイダから指定された IP アドレスや DNS ネームサーバアドレスを接続先の設定画面で入力してください。

● CATV 接続に関するトラブル

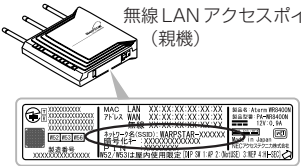
症　状	原因と対策
CATV インターネット接続に失敗する	●回線側の IP アドレスが取得できていない。 →クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側状態」の「IP アドレス」を確認してください。正しく IP が取得できていない場合は、いったん［IP 解放］をクリックしてから［IP 取得］をクリックして IP アドレスを正しく更新してください。 ●他のブロードバンドルータやパソコンに接続していた CATV ケーブルモデムを無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続し直して通信しようとしている。 →CATV ケーブルモデムの機種によっては、過去に接続したルータやパソコンの MAC アドレスを記憶して、この MAC アドレスが一致しないと通信できない場合があります。この場合は、CATV ケーブルモデムの電源をいったん切って、20 分ほど待ってから電源を入れ直すことで回避できる場合があります。 ●CATV 接続事業者によっては、本商品の MAC アドレスを申請する必要があります。無線 LAN アクセスポイント（親機）の WAN 側の MAC アドレスを申請してください。
CATV インターネット接続に成功してもホームページが開けない	●ドメイン名、ホスト名が指定されていない。 →CATV 事業者によってはドメイン名やホスト名を入力しないと接続できない場合があります。事業者に確認してクイック設定 Web の「基本設定」－「接続先設定」画面の［高度な設定を表示］をクリックしてから、または、らくらく Web ウィザードでドメイン名やホスト名を入力してください。 ●ゲートウェイ、DNS ネームサーバが指定されていない。 →CATV 事業者によってはゲートウェイや DNS ネームサーバを入力しないと接続できない場合があります。接続事業者に確認して、クイック設定 Web の「基本設定」－「接続先設定」または、らくらく Web ウィザード（☛P41）からゲートウェイやネームサーバを入力してください。

<table>
<tr><th>症　状</th><th>原因と対策</th></tr>
<tr><td>WAN側IPアドレスが取得できない</td><td rowspan="2">●前面のWANランプが点灯しているか確認してください。
●WAN側IPアドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続がエラー終了します。
→クイック設定Webの「情報」の「現在の状態」で「WAN側状態」の「IPアドレス」をご確認ください。
IPアドレスが表示されていない場合は、[IP取得］をクリックし、IPアドレスが正しく表示されていることをご確認ください。
［IP取得］でもIPアドレスが表示されない場合は、CATVケーブルモデムがエラー表示していないか、または無線LANアクセスポイント（親機）前面のWANランプが点灯しているか確認してください。
●クイック設定Webの「接続先設定」画面の［高度な設定を表示］をクリックしてから、「IPアドレスの割り当て競合検出」のチェックを外してみてください。
●CATVケーブルモデムが無線LANアクセスポイント（親機）と同じIPアドレス192.168.0.1になっている可能性があります。
→次の手順で、IPアドレスが同じか確認したあとで、LAN側のIPアドレスを変更します。
①IPアドレスを確認する
WAN側：クイック設定Webの「情報」の「現在の状態」で「WAN側状態」の「IPアドレス」が空欄になっている
②IPアドレスを変更する
クイック設定Webの「詳細設定」の「LAN側設定」で「IPアドレス」を"192.168.1.1"など左から3つ目を変更して、［設定］をクリックする
③［保存］をクリックする</td></tr>
<tr><td>しばらくすると回線が切断され、WAN側IPアドレスが、空欄になってしまう</td></tr>
</table>

ユーティリティに関するトラブル

●無線LANアクセスポイント（親機）のクイック設定Webに関する問題

症　状	原因と対策
管理者パスワードを忘れてしまった	●無線LANアクセスポイント（親機）を工場出荷状態に初期化してください。この場合、設定した値はすべて初期値に戻ってしまいます。（☛P92） ただし、クイック設定Webの「メンテナンス」－「設定値の保存＆復元」で以前の設定値をファイルに保存してあると簡単に復元させることができます。設定変更する場合は設定値を保存しておくことをお勧めします。（機能詳細ガイド）
無線LANアクセスポイント（親機）のバージョンを確認したい	クイック設定Webで確認することができます。「情報」－「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」で確認します。
［設定］をクリックしても、状態が反映されない	●［保存］をクリックしていない →項目によっては、［設定］をクリックしても状態は反映されません。 左側フレーム内の［保存］をクリックし、無線LANアクセスポイント（親機）を再起動する必要があります。 ※再起動後有効となる項目 ・疑似MACアドレス
ブラウザからの応答がなくなってしまった	●クイック設定Webでは、［設定］をクリックすると設定値は即時有効となりますが、［詳細設定］－［LAN側設定］、または［無線LAN設定］の変更では、［設定］をクリックするとブラウザからの応答がなくなる場合があります。その場合は、いったんブラウザを終了させてください。その後、無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）の接続設定が同じであることを確認のうえ、再度ブラウザを開き、［保存］をクリックしてください。 なお、［保存］をクリックせず、本商品の電源をOFFにしたり、再起動したりすると、設定値が失われますのでご注意ください。

●サテライトマネージャに関する問題

症　状	原因と対策
インストール時に「このパソコンには無線制御用ソフトが既にインストールされているため…」という画面が表示される	●サテライトマネージャのインストールをいったん停止し、パソコンにインストールされている無線制御用ソフトをアンインストールしてから再度サテライトマネージャをインストールしてください。
らくらく無線スタートが成功しない	●無線LANアクセスポイント（親機）の電源がONになっていることを確認する →OFFになっていたらONにしてください。無線LANアクセスポイント（親機）の無線LANモード設定が、無線LAN端末（子機）の通信可能なモードに対応していることを確認してください。 ●らくらく無線スタートに対応した無線LANアクセスポイント（親機）を利用する →無線LAN設定の中の「暗号化モード」が有効になっていることを確認してください。暗号化がOFFの場合は、有効にしてください。 ●ドライバが正しく入っていない可能性がある →詳細は、ご利用の無線LAN端末（子機）のメーカーにお問い合わせください。 ●らくらく無線スタートEXが正しくインストールされていない →添付のCD-ROM（ユーティリティ集)、またはAtermStation（http://121ware.com/aterm/）から最新の「らくらく無線スタートEX」をダウンロードしてインストールしてください。（WWW 機能詳細ガイド） ●無線LANアクセスポイント（親機)の暗号化が解除されている →無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化設定を行ってください。（WWW 機能詳細ガイド） ●無線LANアクセスポイント（親機）のMACアドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている →無線LANアクセスポイント（親機）のMACアドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている場合はらくらく無線スタートの設定ができません。設定を確認してください。（WWW 機能詳細ガイド） ●使用するネットワークにDHCPサーバとなる機器が存在しない状態で、無線LANアクセスポイント（親機）が無線LANアクセスポイントモードに設定されている →DHCPサーバとなる機器を設置するか、サテライトマネージャで無線LANの設定をしてください。（WWW 機能詳細ガイド）

（次ページに続く）

症　状	原因と対策
らくらく無線スタートが成功しない（続き）	●パソコンでファイアウォール、ウィルスチェックなどが動作している →設定の前にファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。設定が完了したらもう一度必要な設定を行ってください。 ●パソコンに設定された固定IPアドレスが無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク体系とあっていない →パソコンの設定で「IPアドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCPサーバを参照」になっていることを確認してください。（機能詳細ガイド） ●古いバージョンのドライバやユーティリティがインストールされている →古いバージョンのドライバやユーティリティをアンインストールしてから、本商品に添付のCD-ROMを使用して、ドライバやユーティリティをインストールしてください。 ●無線LANアクセスポイント（親機）のらくらくスタートボタンを長く押しすぎている →らくらくスタートボタンは、POWERランプが緑点滅状態になったらいったん離します。「つなぎかたガイド」などの手順に従ってもう一度らくらく無線スタートを行ってください。 ●無線LAN端末（子機）（WL300NCなど）のほかにネットワークデバイス（ETHERNETボードなど）が動作している →ETHERNETインタフェースを搭載したパソコンの場合LANカードおよびLANボード機能を停止させてから、サテライトマネージャのらくらく無線スタートで設定を行ってください。 ●らくらく無線スタートEXの場合、無線LAN端末（子機）専用の設定ユーティリティなどが動作している →無線LAN端末（子機）専用の設定ユーティリティはいったん停止してください。

症　状	原因と対策
らくらく無線スタートが成功しない（続き）	●無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）で使用可能な暗号化方式や暗号化強度が一致していない →無線 LAN アクセスポイント（親機）に無線 LAN 端末（子機）で使用可能な暗号化方式や暗号化強度を設定してください。AES に対応していない無線 LAN 端末（子機）を利用する場合無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定を変更する必要があります。
Windows Vista™および Windows® XP/2000 Professional で、サテライトマネージャがインストールできない	● Administrator 権限のあるユーザーでログオンしていない。 →「Administrator」権限のあるユーザーでログオンしてください。「Administrator」権限のないユーザーではインストールが行えません。
サテライトマネージャが使用できない	● WL300NC（無線 LAN カード）のドライバが正しくインストールされていません。 次の手順でいったんドライバとユーティリティ（Windows® XP/2000 Professional の場合はドライバ）を削除してから、もう一度ドライバとユーティリティ（Windows® XP/2000 Professional の場合はドライバ）をインストールしてください。 ① [スタート] − [すべてのプログラム] − [ドライバとユーティリティのアンインストール]（Windows® XP/2000 Professional の場合は [ドライバのアンインストール]）をクリックする ② 画面の指示に従って、アンインストールを行う ③ WL300NC（無線 LAN カード）を接続する

（次ページに続く）

症　状	原因と対策
サテライトマネージャが使用できない （続き）	●前ページの手順でも正しくインストールされない場合は、次の手順で再インストールしてください。 〈Windows Vista™の場合〉 ①［スタート］（Windows®のロゴボタン）－［コントロールパネル］をクリックする ②［システムとメンテナンス］をクリックする ③［システム］アイコンをクリックする ④タスク欄の［デバイスマネージャ］をクリックする ⑤［続行］をクリックする ⑥［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする ⑦［NEC AtermWL300NC（PA-WL300NC）Wireless Network Adapter］を右クリックし、「プロパティ」を表示する ⑧［ドライバ］タブで［ドライバの更新］をクリックする 以降は、「機能詳細ガイド」の「無線LAN 端末（子機）の使い方」「ドライバのインストール」を参照して再インストールを行ってください。 〈Windows® XPの場合〉 ①［スタート］－［コントロールパネル］をクリックする ②［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする ③［システム］アイコンをクリックする ④［ハードウェア］タブをクリックする ⑤［デバイスマネージャ］をクリックする ⑥［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする ⑦［NEC AtermWL300NC（PA-WL300NC）Wireless Network Adapter］を右クリックし、「プロパティ」を表示する ⑧［ドライバ］タブで［ドライバの更新］をクリックする 以降は、「機能詳細ガイド」の「無線LAN端末（子機）の使い方」「ドライバのインストール」を参照して再インストールを行ってください。 〈Windows® 2000 Professionalの場合〉 ①［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］をクリックする ②［システム］アイコンをダブルクリックする ③［ハードウェア］タブをクリックする ④［デバイスマネージャ］をクリックする ⑤［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする ⑥［NEC AtermWL300NC（PA-WL300NC）Wireless Network Adapter］を右クリックし、「プロパティ」を表示する ⑦［ドライバ］タブで［ドライバの更新］をクリックする 以降は、「機能詳細ガイド」の「無線LAN端末（子機）の使い方」「ドライバのインストール」を参照して再インストールを行ってください。

症　状		原因と対策
WL300NC（無線LANカード）が使えない	［サテライトマネージャ］アイコンが使える状態（青表示）にならない 通信状態が「範囲外」となる	●無線LANアクセスポイント（親機）の電源が入っているか確認してください。 ●通信モードがあっているか確認してください。無線LANアクセスポイント（親機）との通信は「インフラストラクチャ通信」で使用します。 ※通信モードはサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して、「ネットワーク一覧」で「ネットワーク名（SSID）」をクリックし、［設定］をクリックして確認します。 ●接続する無線動作モードのネットワーク名（SSID）があっているか確認してください。無線LANアクセスポイント（親機）の設定に合わせて設定してください。 ※無線LANアクセスポイント（親機）の出荷時設定は、底面または側面に貼ってあるラベルに記載されています。 無線LANアクセスポイント（親機） ●無線LANアクセスポイント（親機）との距離が離れすぎていないか確認してください。

（次ページに続く）

症　状		原因と対策
WL300NC（無線LANカード）が使えない（続き）	［サテライトマネージャ］アイコンが使える状態（青表示）にならない 通信状態が「範囲外」となる （続き）	●WL300NC（無線LANカード）のランプのつき方（P31）を確認してください。 消灯している場合はWL300NC（無線LANカード）が無線LANアクセスポイント（親機）を正しく認識していません。サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して、「ネットワーク一覧」で「ネットワーク名（SSID）」をクリックし、［設定］をクリックして、無線LANアクセスポイント（親機）との通信の設定をやり直してください。 ●コードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。 →お互いを数メートル以上離してお使いください。
	［サテライトマネージャ］は使える状態（青表示）になるが無線LANアクセスポイント（親機）に接続できない	●暗号化の設定をしている場合は、無線LANアクセスポイント（親機）と接続する無線通信モードで暗号化キーが一致しているか確認してください。（機能詳細ガイド） ●Windows® XPをご利用の場合は、[Windows® XPのワイヤレスネットワーク設定を無効にする］設定になっていることを確認してください。（機能詳細ガイド）
	接続する無線動作モードのネットワーク名（SSID）を忘れてしまった	●有線LAN（ETHERNETポート）のパソコンから、クイック設定Webの［無線LAN設定］－［無線LAN設定］で設定し直してください。 ●サテライトマネージャ「プロパティ」の「ネットワーク一覧」で［スキャン］をクリックして無線LANアクセスポイント（親機）を検索してください。ネットワーク名（SSID）で無線LANアクセスポイント（親機）を識別できます。 ●無線LANアクセスポイント（親機）背面のRESETスイッチによる初期化（工場出荷状態に戻す）をしてください。（P93）出荷時のネットワーク名（SSID）の設定は無線LANアクセスポイント（親機）の底面に記載されています。（P85）

症　状		原因と対策
WL300NC（無線LANカード）が使えない（続き）	「ネットワークの参照」で無線LANアクセスポイント（親機）がみつからない	●電波状態により「ネットワークの参照」で無線LANアクセスポイント（親機）の電波を検出できない場合があります。このような場合は、［新規登録］で直接ネットワーク名（SSID）を入力してください。 ●クイック設定Webの［無線LAN設定］－［無線LAN設定］の「無線LAN端末（子機）の接続制限」で「ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）」を「使用する」に設定している場合は、「ネットワークの参照」に応答しません。 ［新規登録］で直接ネットワーク名（SSID）を入力してください。 ●WL300NC（無線LANカード）のドライバが正常に組み込まれていないことが考えられます。ドライバをいったんアンインストールしたあと、再度インストールしてみてください。 ●Ethernetインタフェースを搭載したパソコンの場合、LANカードまたはLANボードの機能を停止させないとWL300NC（無線LANカード）のドライバが正しくインストールされない場合があります。LANカードまたはLANボードの機能を停止させてから、サテライトマネージャでの設定を行ってください。（機能詳細ガイド）
	接続する無線動作モードの暗号化設定の暗号化キーを忘れてしまった	●有線LAN（ETHERNETポート）に接続したパソコンから、クイック設定Webの「無線LAN設定」の「無線LAN設定」で設定を確認してください。（機能詳細ガイド） ●無線LANアクセスポイント（親機）を工場出荷状態に戻してください。（☛P92）ネットワーク名（SSID）や暗号化設定（WEPキー）は本体底面のラベルの値に戻ります。（☛P85）
		●「無線状態が良好なのに通信できない」（☛P90）を参照してください。

ご利用開始後のトラブル

症　状	原因と対策
時々通信が切れる	●ブロードバンドモデム側のトラブルシューティングをご確認ください。特に ADSL モデムに接続の場合はノイズ環境により左右されます。
途中から通信速度が遅くなった	
通信が切断されることがある	
使用可能状態において突然「IP アドレス 192.168.0.xxx　は、ハードウェアのアドレスが....と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された	●［OK］をクリックして次の手順で IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、他のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記の手順を行って IP アドレスを再取得してください。 **＜ IP アドレスの再取得＞** ＜ Windows Vista™および Windows® XP の場合＞ ①［スタート］（Windows®のロゴボタン）（Windows® XP の場合は［スタート］）－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックする ②「ipconfig /renew」と入力して、［Enter］キーを押す ③IP アドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認する ＜ Windows 2000® Professional の場合＞ ①［スタート］－［プログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックする ②「ipconfig /renew」を入力して［Enter］キーを押す ③IP アドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認する
前回はできたのにインターネット接続ができない （PPPoE モード、ローカルルータモード共通）	●パソコンに IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも無線 LAN アクセスポイント（親機）の方が先に電源が立ち上がって装置内部の処理が完了している必要があります。 下記のどちらかの方法で確認してください。 a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる 起動後、前ページを参照して再度パソコンの IP アドレスを確認してください。 b. 上記の「IP アドレスの再取得」を行う
前回はできたのにインターネット接続ができない （PPPoE モードの場合）	●ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源が入っていることを確認してください。 ●ADSL モデムの場合、ADSL リンクが確立していることを確認してください。

症　状	原因と対策
前回はできたのにインターネット接続ができない (ローカルルータモードの場合)	●ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源が入っていることを確認してください。 ●ブロードバンドモデム／回線終端装置と無線LANアクセスポイント（親機）の電源投入順序によっては無線LANアクセスポイント（親機）のWAN側IPアドレスが正しく取得できないことがあります。クイック設定Webの［情報］の［現在の状態］で［IP解放］をクリックしてから［IP取得］をクリックしてIPアドレスを更新してください。
無線LANアクセスポイント（親機）が正常に動作しないが、原因がわからない	●設定に誤りがある場合があります。 どうしても動作しない場合は、初期化して購入時の状態に戻し、最初から設定し直してください。
無線状態が良好なのに速度がでない	●近くに隣接する無線チャネルを使っている人がいる、または「チャネル状況」には表示されないデジタルコードレス電話機、ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボード、Bluetoothなどの電波を放射する装置で電波干渉がある。 →サテライトマネージャ[プロパティ]－[状態]の「チャネル状況」で使用しているチャネルを確認し、クイック設定Webで使用する無線チャネルの番号を変更してください。 →クイック設定Webを起動して[無線LAN設定]－[無線LAN設定]内の[無線LANアクセスポイント(親機)設定]の「使用チャネル」の番号を変更します。 設定値の目安として、他の無線設備が使用しているチャネルから3チャネル以上あけるようにしてください。 2.4GHzモードの場合：設定値1～13 ●無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）が近すぎる →1m以上離してください。 →WL300NC（無線LANカード）の場合はサテライトマネージャで「送信出力」を下げてみてください。（WWW機能詳細ガイド） その場合、遠くにあるWL300NC（無線LANカード）から接続しにくくなります。

症　状	原因と対策
無線状態が良好なのに通信できない	●〈IPアドレスの再取得〉（☛P88）を参照して、IPアドレスが取得できるか確認してください。 ●固定IPアドレスでお使いの場合は、無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）に接続しているパソコンのネットワーク体系を一致させてください。 （例：無線LANアクセスポイント（親機）が192.168.0.1のとき、無線LAN端末（子機）は192.168.0.xxx） ●他のLANカードまたは、LANボードの機能を停止させてください。（☛P45、46）
WL300NC（無線LANカード）を利用して、ＡＶサーバなどのストリーミングをしていると画像が乱れたり音が飛ぶ	●無線状態が悪い（無線LANアクセスポイント（親機）との距離が離れすぎている） →電波状態が良好となるところに移動してください。 ●電波干渉がある →無線チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください。（☛P89） ●サテライトマネージャのストリーミングモードを「ON」にする。（WWW機能詳細ガイド） ●ＡＶサーバのレートを低品質に下げてご利用ください。
無線LANアクセスポイント（親機）のバージョンを確認したい	●次の方法で確認できます。 ・クイック設定Webの「情報」－「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」

添付の CD-ROM に関するトラブル

症　状	原因と対策
CD-ROM セット直後に表示される画面を表示したくない	Windows Vista™および Windows® XP/2000 Professional の場合、CD-ROM をセットすると、画面が表示されるように設定されています。 →表示したくない場合は、以下のどちらかの方法でメニューを消してください。 ●不要な場合は ✕ をクリックします。（機種によっては［終了］をクリックします。） ●Windows Vista™および Windows® XP/2000 Professional の場合、Shift キーを押しながら CD-ROM をセットします。

無線 LAN アクセスポイント（親機）を初期化する

初期化とは、無線 LAN アクセスポイント（親機）に設定した内容を消去して購入時の状態に戻すことをいいます。無線 LAN アクセスポイント（親機）がうまく動作しない場合や今までとは違う回線に接続し直す場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。
初期化には、以下の方法があります。ご利用しやすい方法で行ってください。

クイック設定 Web で初期化する（☛ 下記）
RESET スイッチで初期化する（☛P93）

初期化しても、購入後にお客様がバージョンアップした無線 LAN アクセスポイント（親機）のファームウェアはそのままです。

クイック設定 Web で初期化する

1 パソコンを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力しても開きます。（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例： http://192.168.0.1/
※無線 LAN アクセスポイントモードに設定している場合は、設定した IP アドレスを入力してください。
（例： http://192.168.0.211/）

3 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 「メンテナンス」の［設定値の初期化］を選択する

5 ［設定値の初期化］をクリックする

6 ［OK］をクリックする

無線 LAN アクセスポイント（親機）が再起動します。

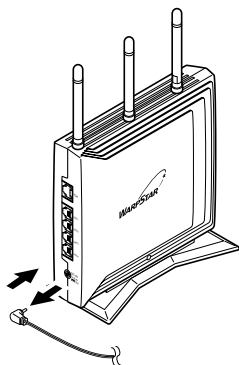
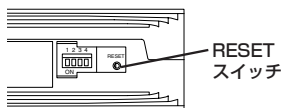
RESETスイッチで初期化する

無線LANアクセスポイント（親機）のRESETスイッチを使って初期化を行います。RESETスイッチは、背面にあります。

1 無線LANアクセスポイント（親機）の電源が入っていることを確認する

2 無線LANアクセスポイント（親機）の底面にあるRESETスイッチを細い棒状のもの（つまようじなど電気を通さない材質のもの）で押し続け、POWERランプが赤点滅を始めたら離す

POWERランプが赤点滅するまで約6秒〜10秒かかります。

3 無線LANアクセスポイント（親機）からACアダプタのプラグをいったん取り外したあと、10秒ほど待ってから、再び差し込む

お願い

●無線LANアクセスポイント（親機）の設定を初期化した場合、管理者パスワードの設定もクリアされ、パケットフィルタなどの設定も初期値に戻りますので、初期化後に必ず再設定してください。

●無線LANアクセスポイント（親機）は、工場出荷時に、ネットワーク名（SSID)、暗号化キーが設定されています。初期化するとネットワーク名（SSID)、暗号化キーの設定も工場出荷時の設定（無線LANアクセスポイント（親機）の底面に記載）になります。暗号化の設定を変更している場合などは、無線LAN端末（子機）から接続できなくなる場合があります。その場合は、無線LANアクセスポイント（親機）の設定を変更するか、無線LAN端末（子機）の暗号化設定も工場出荷時の状態（無線LANアクセスポイント（親機）の底面に記載）に戻してください。

製品仕様

WR8400N（親機）ハードウェア仕様

項　目		諸元および機能	備　考
WAN インタ フェース	物理 インタフェース	8ピンモジュラージャック （RJ-45）×1ポート	
	インタフェース	ブロードバンド接続ポート （100BASE-TX/10BASE-T）	Auto MDI/MDI-X 固定モード対応
	伝送速度	100Mbps/10Mbps	
	全二重/半二重	全二重/半二重	
LAN インタ フェース	物理 インタフェース	8ピンモジュラージャック （RJ-45）×4ポート	スイッチングHUB ×4ポート
	インタフェース	ETHERNETポート （100BASE-TX/10BASE-T）	AUTO MDI-X対応
	伝送速度	100Mbps/10Mbps	
	全二重/半二重	全二重/半二重	
無線LAN インタ フェース 2.4GHzと 5GHzは排 他使用	Draft IEEE802.11n	周波数帯域/チャネル	2.4GHz帯 （2,400-2,484MHz）/ 1～13ch
			［W52］5.2GHz帯 （5,150-5,250MHz）: 36/40/44/48ch ※屋内限定
			［W53］5.3GHz帯 （5,250-5,350MHz）: 52/56/60/64ch ※屋内限定
			［W56］5.6GHz帯 （5,470-5,725MHz）: 100/104/108/112/ 116/120/124/128/ 132/136/140ch
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式/ 搬送波数56 MIMO（空間多重）方式
		伝送速度	2.4GHz帯、5.2GHz帯（W52）/5.3GHz帯（W53）/5.6GHz帯（W56） ［HT20］130/117/104/78/52/39/26/13Mbps （自動フォールバック） 2.4GHz帯、W52 ［HT40］300/270/243/216/162/108/81/54/27Mbps （自動フォールバック）

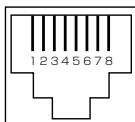
項　目		諸元および機能	備　考
無線LAN インタフェース 2.4GHzと5GHzは排他使用	IEEE802.11a	周波数帯域/チャネル	[W52] 5.2GHz帯 (5,150-5,250MHz)： 36/40/44/48ch ※屋内限定 [W53] 5.3GHz帯 (5,250-5,350MHz)： 52/56/60/64ch ※屋内限定 [W56] 5.6GHz帯 (5,470-5,725MHz) 100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式
		伝送速度	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps （自動フォールバック）
	IEEE802.11b	周波数帯域/チャネル	2.4GHz帯 (2,400-2,484MHz)/ 1～13ch
		伝送方式	DS-SS（スペクトラム直接拡散）方式
		伝送速度	11/5.5/2/1Mbps （自動フォールバック）
	IEEE802.11g	周波数帯域/チャネル	2.4GHz帯 (2,400-2,484MHz)/ 1～13ch
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式/ 搬送波数52
		伝送速度	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps （自動フォールバック）
	アンテナ	ダイポールアンテナ×3	アンテナ
	セキュリティ	SSID、WEP（152/128/64bit）、WPA-PSK（TKIP、AES） ※Draft IEEE802.11nはWPA-PSK（AES）のみの対応	

（次ページに続く）

製品仕様

<table>
<tr><th colspan="3">項　目</th><th>諸元および機能</th><th>備　考</th></tr>
<tr><td rowspan="6">ヒューマンインタフェース</td><td rowspan="5">状態表示ランプ</td><td>POWER</td><td colspan="2">電源通電時点灯</td></tr>
<tr><td>ACTIVE</td><td colspan="2">ネット通信確立時点灯</td></tr>
<tr><td>AIR</td><td colspan="2">2.4GHz モード時緑点灯、2.4GHz データ送受信時緑点滅
5GHz モード時橙点灯、5GHz データ送受信時橙点滅
レーダー波サーチ中赤点滅</td></tr>
<tr><td>WAN</td><td colspan="2">リンク確立時点灯
データ送受信点滅</td></tr>
<tr><td>LAN1 ～４</td><td colspan="2">リンク確立時点灯
データ送受信点滅</td></tr>
<tr><td colspan="2">スイッチ</td><td colspan="2">らくらくスタートボタン× 1
RESET スイッチ× 1
ディップスイッチ（４連）× 1</td></tr>
<tr><td colspan="3">動作保証環境</td><td>温度０～40℃　湿度 10 ～ 90％</td><td>結露しないこと</td></tr>
<tr><td colspan="3">外形寸法</td><td>約 41（W）× 197（D）× 174（H） mm</td><td>突起部分および
アンテナを除く</td></tr>
<tr><td colspan="3">電源</td><td>AC100V ± 10%　50/60Hz</td><td>AC アダプタ使用</td></tr>
<tr><td colspan="3">消費電力</td><td>8W（最大）</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">質量（本体のみ）</td><td>約 0.42kg</td><td>AC アダプタを除く</td></tr>
<tr><td colspan="3">VCCI</td><td>VCCI クラス B</td><td></td></tr>
</table>

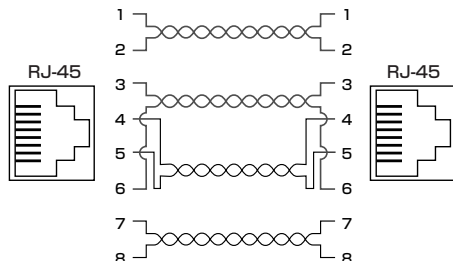
ETHERNET ポートインタフェース

コネクタ形状

● ETHERNET ポート（LAN インタフェース）

ピン番号	略称	機能
1	RD＋	受信データ　＋
2	RD－	受信データ　－
3	TD＋	送信データ　＋
4	NC	未使用
5	NC	未使用
6	TD－	送信データ　－
7	NC	未使用
8	NC	未使用

●ブロードバンド接続ポート（WAN インタフェース）

ピン番号	略称	意味
1	TD＋	送信データ　＋
2	TD－	送信データ　－
3	RD＋	受信データ　＋
4	NC	未使用
5	NC	未使用
6	RD－	受信データ　－
7	NC	未使用
8	NC	未使用

ETHERNET ケーブル（カテゴリー５）

WL300NC（無線LANカード）仕様

■ 仕様一覧

項　目		諸元および機能			備　考
端末インタフェース		CardBusインタフェース			
無線LAN インタフェース	Draft IEEE802.11n	周波数帯域/ チャネル	2.4GHz帯 (2,400～ 2,484MHz)/ 1～13ch 5GHz帯	J52	34/38/42/46ch
				W52	36/40/44/48ch
				W53	52/56/60/64ch
				W56	100/104/108/ 112/116/120/ 124/128/132/ 136/140ch
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式/ 搬送波数56 MIMO（空間多重）方式		
		伝送速度＊1	［HT20］130/117/104/78/52/39/ 26/13Mbps ［HT40］300/270/243/216/162/ 108/81/54/27Mbps （自動フォールバック）		
	IEEE802.11a	周波数帯域/ チャネル	5.2GHz帯 5150-5250MHz ※屋内限定	J52	34/38/42/46ch
				W52	36/40/44/48ch
			5.3GHz帯 5250-5350MHz ※屋内限定	W53	52/56/60/64ch
			5.6GHz帯 5470-5725MHz	W56	100/104/108/ 112/116/120/ 124/128/132/ 136/140ch
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式		
		伝送速度＊1	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps （自動フォールバック）		
	IEEE802.11b	周波数帯域/ チャネル	2.4GHz帯（2,400～2,484MHz）/ 1～13CH		
		伝送方式	DS-SS（スペクトラム直接拡散）方式		
		伝送速度＊1	11/5.5/2/1Mbps （自動フォールバック）		
	IEEE802.11g	周波数帯域/ チャネル	2.4GHz帯（2,400～2,484MHz）/ 1～13CH		
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式/ 搬送波数52		
		伝送速度＊1	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps （自動フォールバック）		
	セキュリティ	SS-ID、WEP（152/128/64bit）、WPA-PSK（TKIP）、 WPA-PSK（AES） ※WindowsVista™ではWEP（152bit）は対応しておりません ※Draft IEEE802.11nではWPA-PSK（AES）のみ対応になります			
	通信モード	アクセスポイント通信			
	その他機能	ユーティリティ（サテライトマネージャ）対応			

項　目		諸元および機能	備　考
ヒューマン インタフェース	状態表示ランプ	状態表示LED×2（ACT、PWR)、LED色：緑色	
	LED動作	通信時　　：同時点滅（通信量により点滅速度変化） 通信待機時（無線LinkUPのみ）：ゆっくりした同時点滅 非動作時　：消灯	
利用可能OS		Windows Vista™日本語版かつ32ビット（×86版)、 Windows® XP 日本語版、 Windows® 2000 Professional 日本語版	
認証		端末機器認証、特定無線設備の認証	
電源		DC3.3V ±10％	パソコンから 給電
消費電流		750mA（最大）	
消費電力		2.5W（最大）	
外形寸法		約54（W）×121（D）×12（H）mm（Max）	
質量（本体のみ）		約0.05kg	
動作環境		温度0～55℃、湿度10～90%	結露しないこと
保存環境		温度－20～60℃、湿度95%（最大）	

＊1：規格による理論値上の速度であり、ご利用の環境や接続機器などにより実際のデータ速度は異なります。

別売りオプション

オプションとして次の製品を別売しています。（製造終了となっている商品もあります。ご了承ください。）

■無線 LAN カード
Aterm WL300NC（PA-WL300NC）

Aterm WL130NC（PA-WL130NC）
Aterm WL54SC（PA-WL/54SC）
Aterm WL54AG（PA-WL/54AG）
Aterm WL11CB（PC-WL/11C(B)）
Aterm WL11CA（PC-WL/11C(A)）
Aterm WL11C（PC-WL/11C）
Aterm WL11C2（PA-WL/11C2）
Aterm WL54AG-SD（PA-WL/54AG-SD1）
※ WL11C での暗号化は WEP（64bit）のみになります。
※ WL11CB/WL11CA/WL11C2 での暗号化は、WEP（64bit/128bit）のみになります。

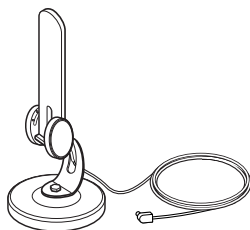
■無線 USB スティック（USB2.0 推奨）
Aterm WL54SU（PA-WL/54SU）
Aterm WL54TU（PA-WL/54TU）
パソコンの USB ポートに接続します。

■無線 LAN USB ボックス
Aterm WL11U（PC-WL/11U）
Aterm WL11U（W）（PC-WL/11U（W））
パソコンと USB で接続します。
※ WL11U/WL11U（W）での暗号化は通常の WEP（64bit）のみになります。

■無線 LAN ETHERNET ボックス
Aterm WL54SE（PA-WL/54SE）
Aterm WL54TE（PA-WL/54TE）
Aterm WL11E2（PA-WL/11E2）
パソコンと ETHERNET ケーブルで接続します。
※WL11E2 での暗号化は、WEP（64bit/128bit）のみになります。

■ ワイヤレス LAN 外部アンテナ
（WL54AG 用）（PA-WL/ANT3）

※ WL300NC/WL130NC では使用できません。

電波状態が悪いときなど、WL54AG（無線 LAN カード）に接続して使用します。（WL54AG（S）、WL54AG-SD も含みます。）
ただし、周囲の電波状況や壁の構造（鉄筋壁、防音壁、断熱壁）などにより、改善状態は異なります。（改善できないこともあります。）

お知らせ

●オプション品は、お近くの販売店のほか、オンラインショップ
Shop@Aterm(http://shop.aterm.jp/)
でもご購入いただけます。

索引

(www) マークの項目については、ホームページに公開している機能詳細ガイドで説明しています。

[ア行]

[カ行]

[サ行]

● 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

● 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。

● 廃棄方法について

この商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。

● ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載･無断複写することは禁止されています。
（2）本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り･記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
（4）本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
（5）セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。
（6）せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

END USER LICENSE AGREEMENT

1. **License Grant and Limitations.** The End User License Agreement shall state that:
Licensee grants the end user (“End User”) a non-exclusive license to use the Sublicensed Code and related documentation. End User shall only use an executable version of the Sublicensed Code in connection with a Target Application. End User shall be prohibited from: (i) copying the Sublicensed Code, except for archival purposes consistent with the End User’s archive procedures; (ii) transferring the Sublicensed Code to a third party apart from the Target Application; (iii) modifying, decompiling, disassembling, reverse engineering or otherwise attempting to derive the source code of the Sublicensed Code; (iv) exporting the Sublicensed Code or underlying technology in contravention of applicable U.S. and foreign export laws and regulations; and (v) using the Sublicensed Code other than in connection with operation of the Target Application. End User may assign its right under this End User License Agreement to an assignee of all of End User’s rights and interest only if End User transfers all copies of the Sublicensed Code subject to the End User License Agreement to such assignee and such assignee agrees in writing to be bound by all the terms and conditions of the End User License Agreement.

2. **Ownership; Disclaimers; Limitations of Liability.** In addition, the End User License Agreement shall: (i) state that the Sublicensed Code is licensed, not sold and that Customer and its licensors retain ownership of all copies of the Sublicensed Code; (ii) expressly disclaim all warranties; (iii) disclaim all implied warranties including, without limitation, the implied warranties of merchantability, fitness for a particular purpose, title and noninfringement; and (iv) exclude liability for any special, indirect, punitive, incidental and consequential damages.

3. **Third Party Beneficiary.** The End User License Agreement must contain a provision substantially similar to the following:
Third-Party Beneficiary. The parties hereby agree and intend that Wind River Systems, Inc., a Delaware corporation having its principal place of business at 500 Wind River Way, Alameda, California 94501 (“Wind River”), is a third party beneficiary to this agreement to the extent that this agreement contains provisions which relate to End User’s use of the Sublicensed Code licensed hereby. Such provisions are made expressly for the benefit of Wind River and are enforceable by Wind River in addition to Customer.

4. **U.S. Government Use.** All Sublicensed Code and technical data are commercial in nature and developed solely at private expense and are deemed to be “commercial computer software” and “commercial computer software documentation”, respectively, pursuant to DFAR Section 227.7202 and FAR Section 12.212(b), as applicable. Any use, modification, reproduction, release, performance, display or disclosure of the software program and/or documentation by the U.S. Government or any of its agencies shall be governed solely by the terms of this Agreement and shall be prohibited except to the extent expressly permitted by the terms of this Agreement. Any technical data provided that is not covered by the above provisions is deemed to be “technical data-commercial items” pursuant to DFAR Section 227.7015(a). Any use, modification, reproduction, release, performance, display or disclosure of such technical data shall be governed by the terms of DFAR Section 227.7015(b).

5. **Export Restrictions.** The Sublicensed Code may only be exported or re-exported in compliance with all applicable laws and export regulations of the United States and the country in which End User obtained them. The Software is specifically subject to the U.S. Export Administration Regulations. End User may not export, directly or indirectly, the Software or technical data licensed hereunder or the direct product thereof to any country, individual or entity for which the United States Government or any agency thereof, at the time of export, requires an export license or other government approval, without first obtaining such license or approval. If End User is a European Union resident, information necessary to achieve interoperability with other programs is available upon request.

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

AtermStation ホームページアドレス

Aterm（エーターム）インフォメーションセンター

（2007 年４月現在）

【個人情報のお取り扱いについて】
当社では、個人情報保護ポリシーを制定し、お客様の個人情報保護に努めております。お客様からご提供いただく情報に含まれるお客様の個人情報は、お客様への連絡やお問い合わせにお答えするために取得し、他の目的に利用することはありません。また、お客様の承諾なく第三者へ個人情報を提供することはございません。ただし、業務を委託するために業務委託先に個人情報を開示する場合があり、その場合には秘密保持条項などを含む契約を締結したうえで委託し、個人情報を適切に管理します。個人情報に関するお問い合わせやご相談がある場合は、NEC アクセステクニカ株式会社　Aterm（エーターム）インフォメーションセンター　ナビダイヤル：0570-050611 までお願いいたします。

この取扱説明書は、古紙配合の再生紙を使用しています。

NECアクセステクニカ株式会社

Aterm WR8400N取扱説明書　第1版

AM1-000564-001

2007年5月

大豆インキを
使用しています

AM1-000564-001Z